

長 浜 市  
中学校における部活動地域移行アンケート

-結果のまとめ-

長浜市教育委員会事務局 すこやか教育推進課

長浜市 市民協働部 文化スポーツ課

## ○長浜市中学校における部活動地域移行アンケート調査について

### 1. 調査目的

長浜スタイルの「部活動の地域移行推進計画」を策定するにあたり、児童・生徒、保護者、教職員及び文化・スポーツ団体等に対し、学校部活動の現状や課題等を把握するため実施したもの。

### 2. 調査対象

#### (1) 児童・生徒

①市内小学校及び義務教育学校の4・5・6年生(3,126人)

②市内中学校1・2年生及び義務教育学校7・8年生(2,116人)

#### (2) 保護者(保護者メール登録者)

①市内小学校及び義務教育学校の4・5・6年生の保護者(3,876人)

②市内中学校1・2年生及び義務教育学校7・8年生の保護者(2,235人)

#### (3) 教職員

①市内小学校及び義務教育学校前期課程の教職員(460人)

②市内中学校及び義務教育学校後期課程の教職員(278人)

#### (4) 文化・スポーツ団体

①市内文化・スポーツ団体(97団体)

### 3. 調査期間

#### (1) 児童・生徒

令和5年7月10日(月)～7月20日(木)

#### (2) 保護者・教職員

令和5年7月10日(月)～7月28日(金)

#### (3) 文化・スポーツ団体

令和5年7月10日(月)～8月10日(木)

### 4. 調査方法

いずれも電子申請システムLOGOフォームにて行う

#### (1) 児童・生徒

児童・生徒用タブレットにて回答。

#### (2) 保護者

保護者メールにアンケートURLを添付し送信。スマホ等で回答。

#### (3) 教職員

校務用パソコン等にて回答。

#### (4) 文化・スポーツ団体

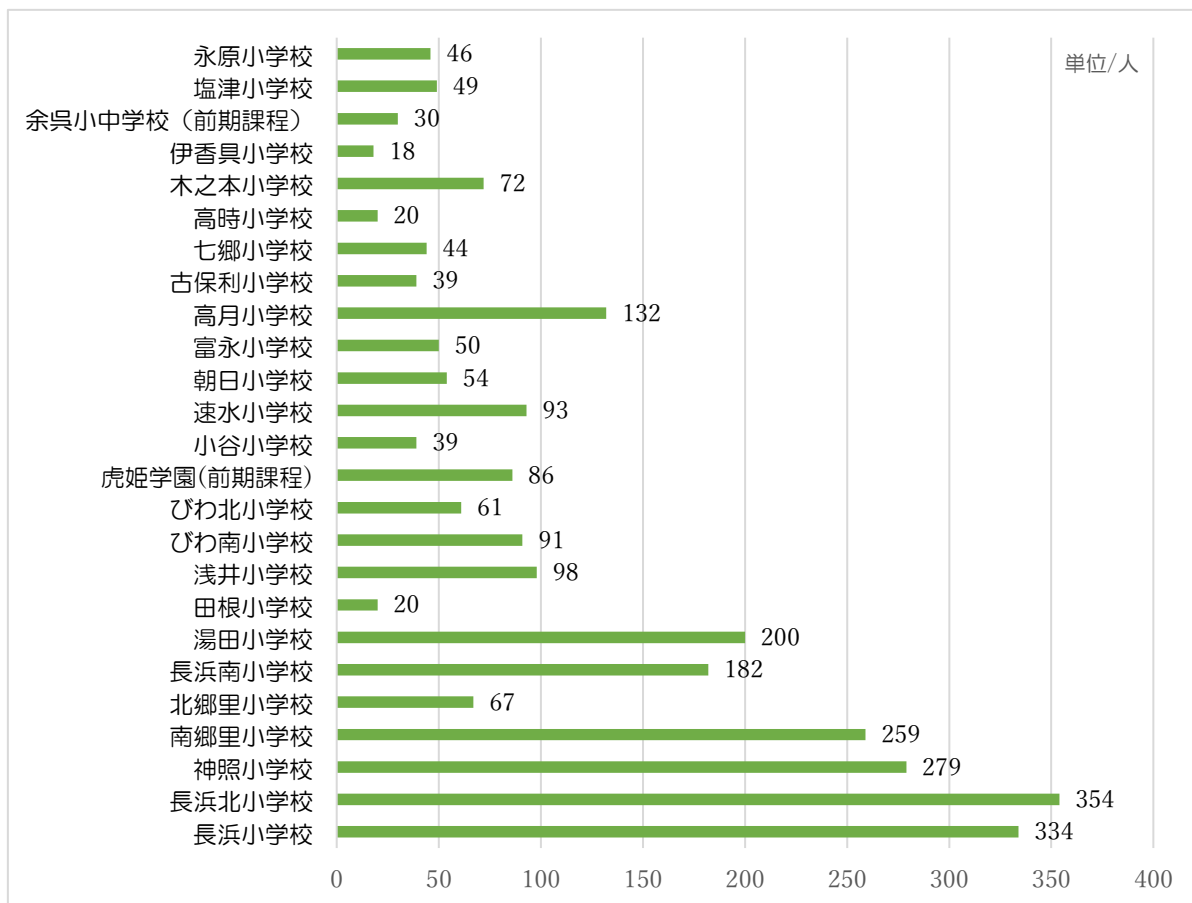
団体メールにアンケートURLを添付し送信。スマホ等で回答。

# 長浜市 部活動アンケート

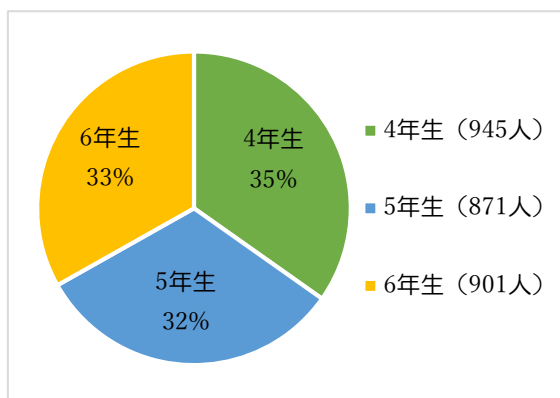
小学校・義務教育学校  
4～6年生

回答数 2,717人/3,126人 (回答率：86.9%)

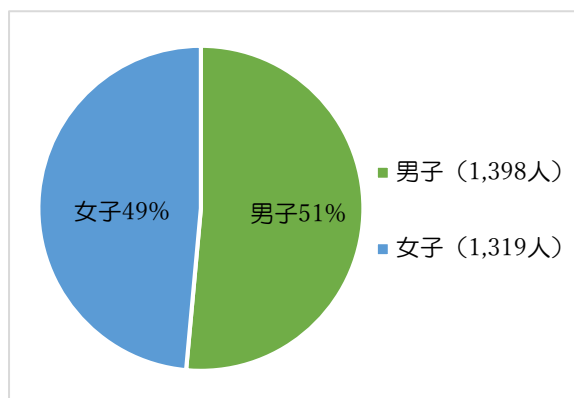
## Q1 学校名を教えてください。



## Q2 学年を教えてください。

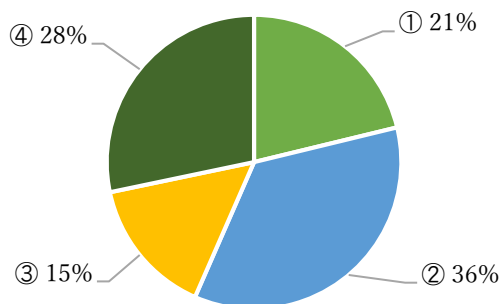


## Q3 性別を教えてください。



#### Q4 いま、みなさんの文化・スポーツの活動について教えてください。

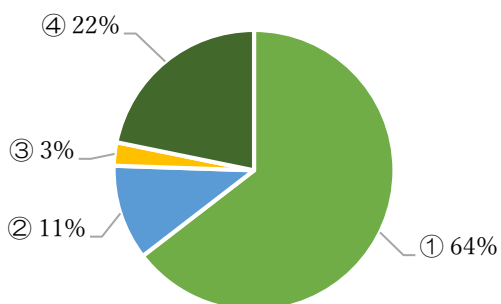
- ①文化活動（書道やピアノなどの習い事にかよう）に取り組んでいる（577人：21%）
- ②スポーツ活動（スポ少やクラブチームなどに入る）に取り組んでいる（961人：36%）
- ③文化活動とスポーツ活動の両方に取り組んでいる（418人：15%）
- ④特に活動していない（761人：28%）



- 文化・スポーツの活動状況において活動に取り組んでいる児童は、1956人で全体の72%であった。28%は活動していなかった。

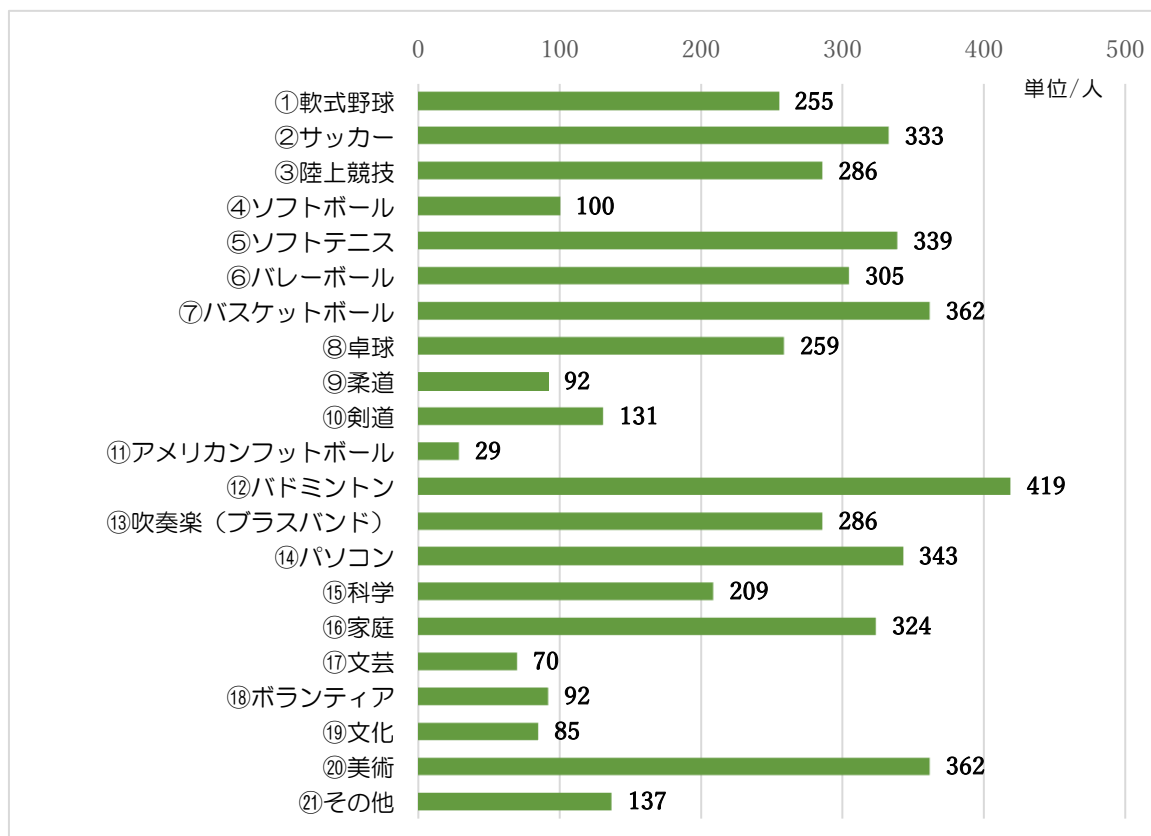
#### Q5 中学生になったら部活動などに参加したいと思っていますか。

- ①中学校の部活動に参加したい（1,754人：64%）
- ②中学校の部活動以外のクラブ（クラブチームや〇〇教室、〇〇スクールなど）に参加したい（298人：11%）
- ③中学校の部活動には参加したくない、参加しない（73人：3%）
- ④まだ考えていない、わからない（592人：22%）



- 中学校の部活動に大半が（64%）が「参加したい」と回答。僅か3%が「参加したくない」と回答。部活動以外のクラブチームに参加したい児童は、11%である。

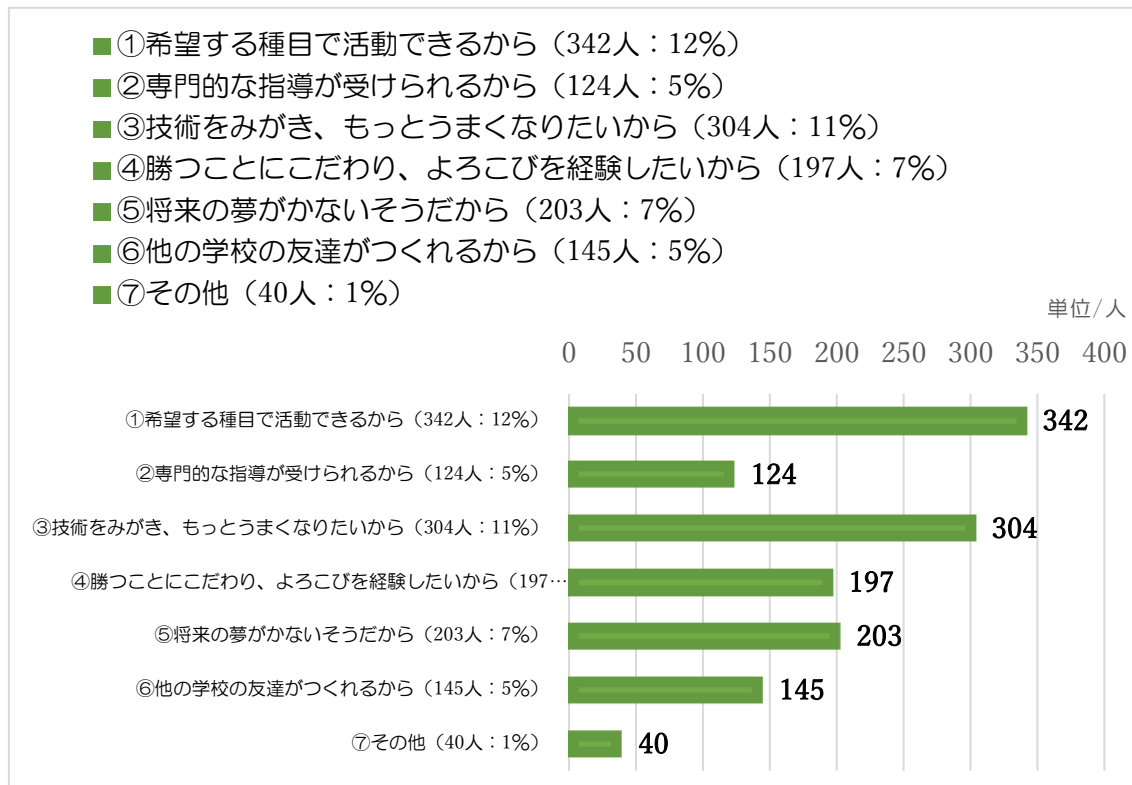
Q6 Q5で①「参加したい」と答えてくれた人にお聞きします。それはどのような活動ですか？進学する中学校にその部活動が「ある」「ない」にかかわらず、やりたい活動を教えてください。（いくつ選んでもかまいません）



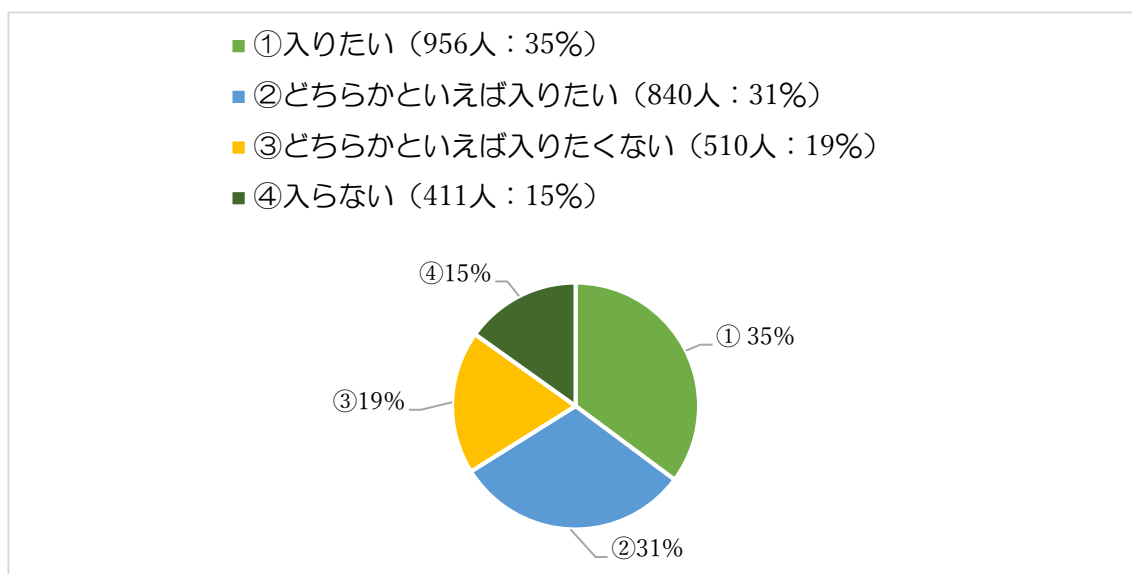
■ バドミントン、美術、バスケットボール、パソコン、ソフトテニス、サッカー、家庭、バレーボール、吹奏楽、陸上の順に希望者が多い。  
 やりたい活動は、スポーツと文化に偏りはない。

Q7 Q5で②「学校以外のクラブチームや〇〇教室、〇〇スクールに参加したい」と答えてくれた人にお聞きします。その理由を教えてください。

(いくつ選んでもかまいません)



Q8 進学を予定している中学校に、自分がやりたい部活動がない場合について教えてください。その場合は、中学校の部活動以外のクラブ（〇〇スクール、〇〇教室など）にやりたい競技や活動があれば、そのクラブに入りたいですか？



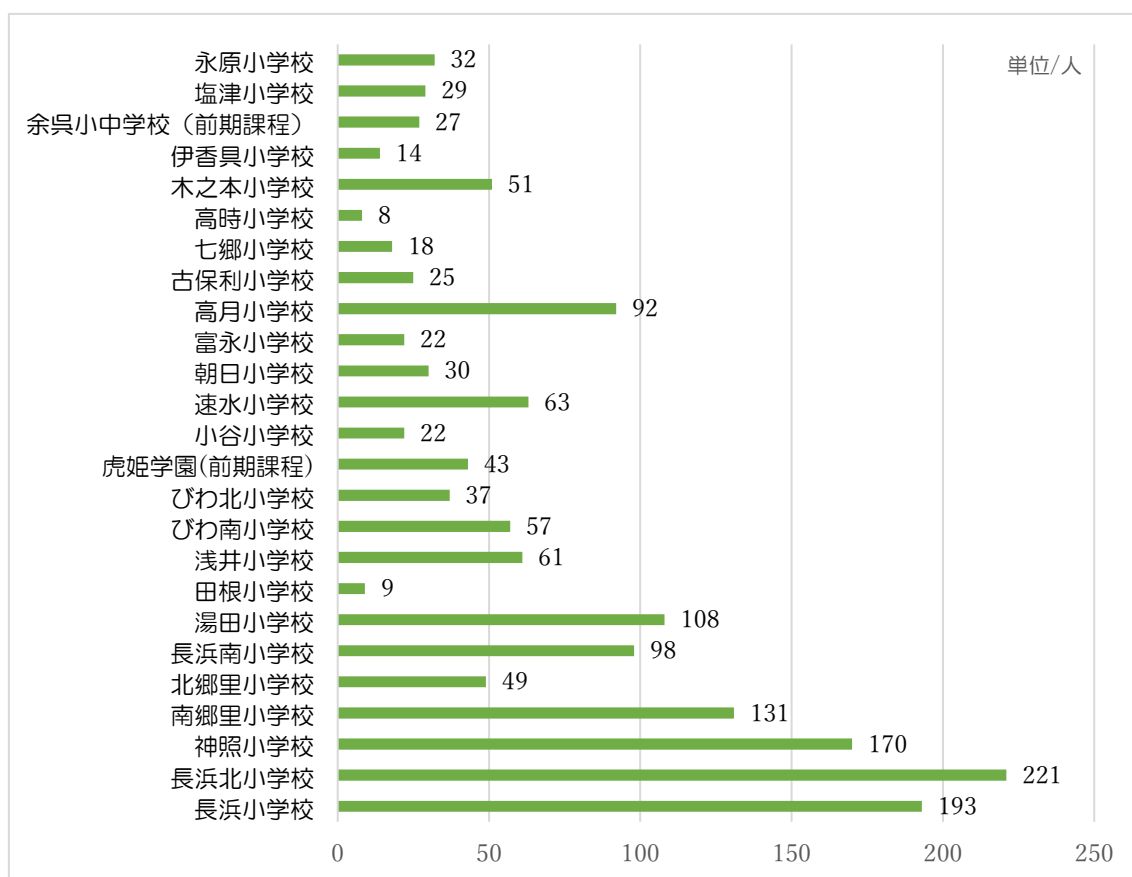
■ 自分がやりたい部活動がない場合でも、66%の児童は文化・スポーツ活動に取り組みたいと回答。

# 長浜市 部活動アンケート

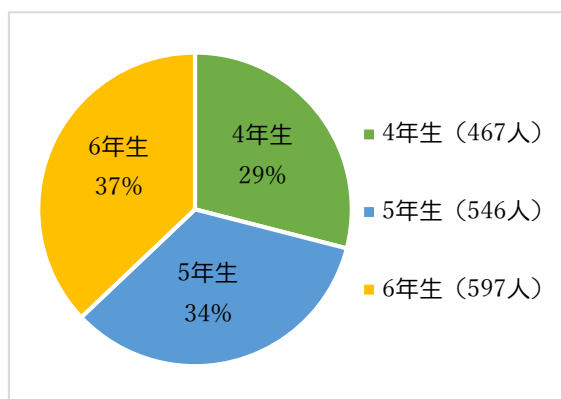
保護者対象(小学校4～6年生)

回答数 1,610 人/3,876 人 (回答率：41.5%)

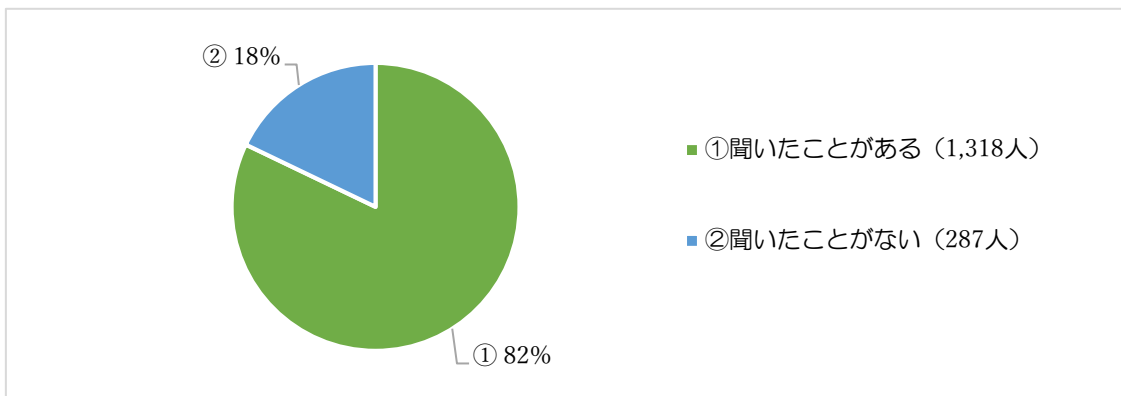
Q1 お子さんの学校名を教えてください。



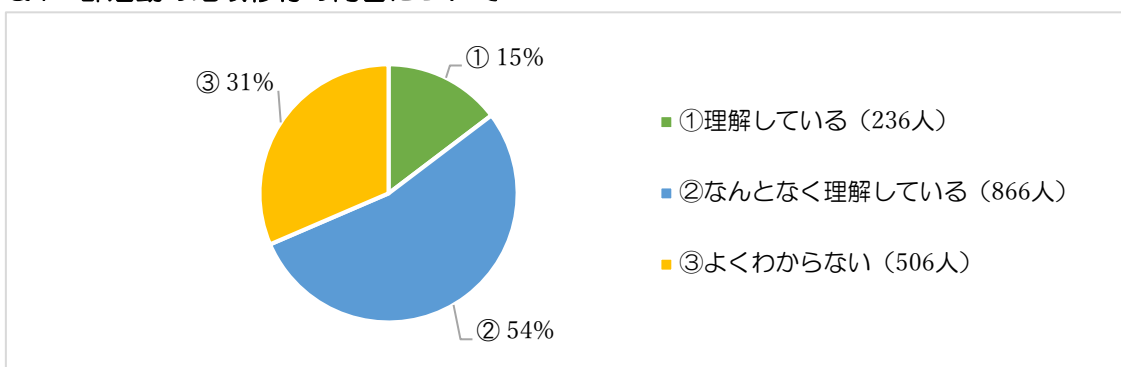
Q2 お子さんの学年を教えてください。※4～6年生に複数のお子さんがおられる場合は、上級生のお子さん1人を対象にお願いします(以下同じ)。



### Q3 部活動の地域移行という言葉について

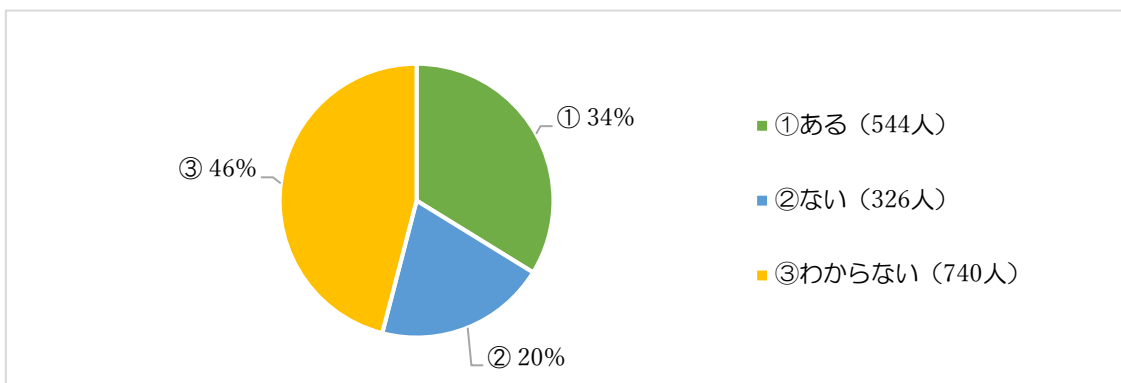


### Q4 部活動の地域移行の内容について



■ 部活動の地域移行について、「なんとなく理解している」が54%、「よくわからない」が31%で、認知度は低い。

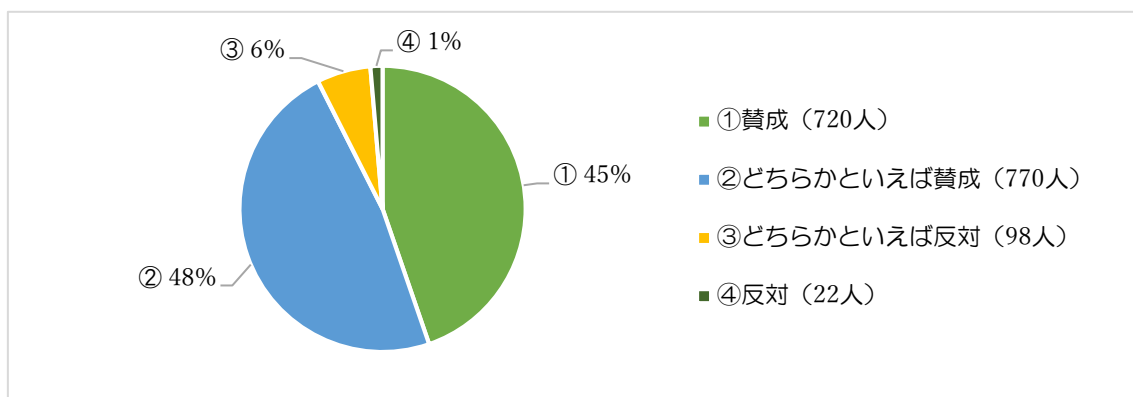
### Q5 お子さんが入りたい、お子さんに入らせたい部活動は、進学予定の中学校にありますか。



■ 20%の保護者が、進学先の中学校に希望する部活動がないと回答。「わからない」が46%で認知されていない。

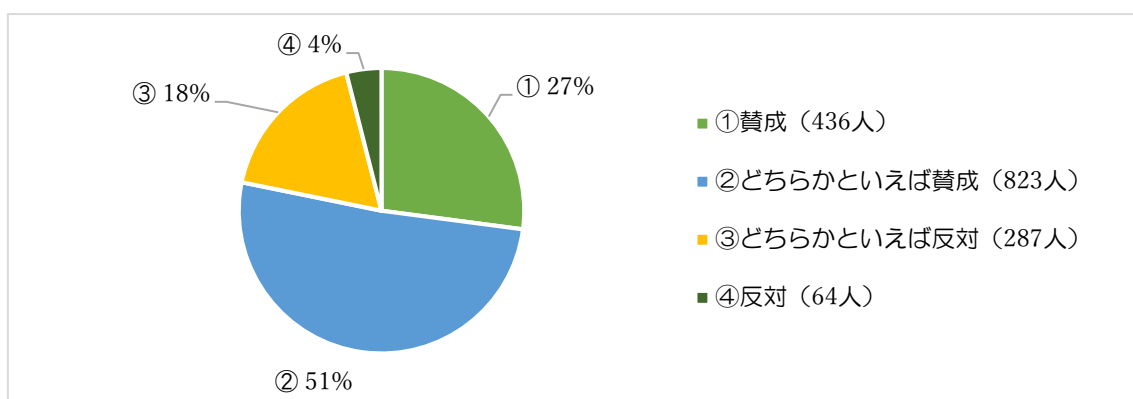


Q6 学校部活動が地域移行した場合の指導者は、教職員のほか、専門性のある外部の指導者などを検討していますが、それについてどのように思われますか。



■ 専門性のある外部指導者であれば、93%が賛成である。

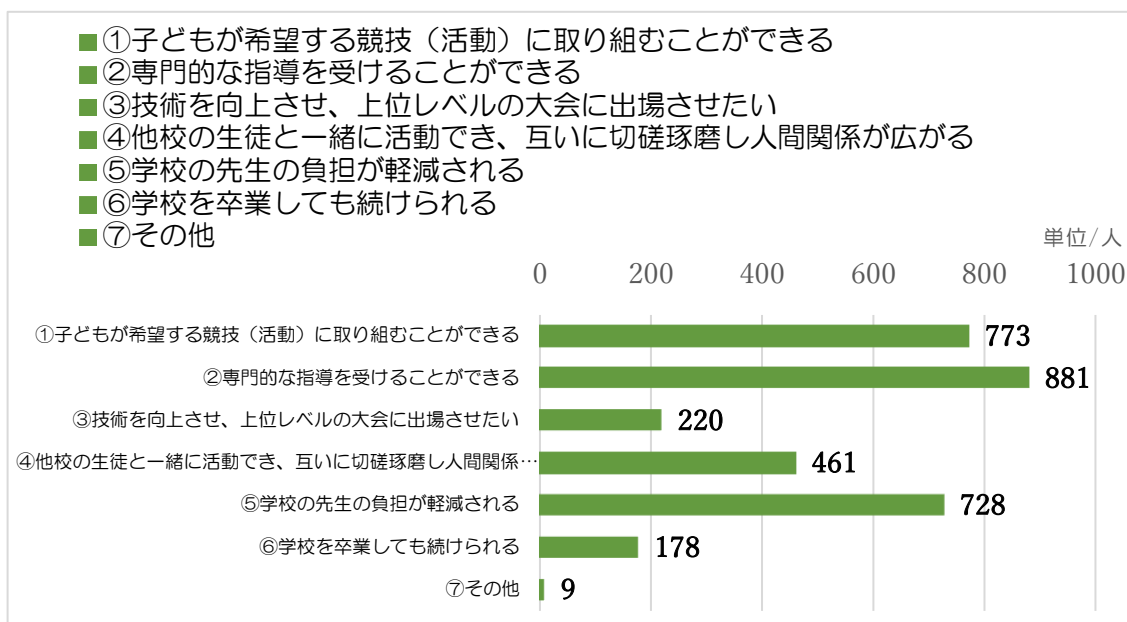
Q7 今後、中学校部活動が地域のクラブなどに移行していくこと（地域移行）について、賛成ですか。



■ 地域移行に、78%が賛成、22%が反対。

Q8 Q7で①か②と回答した人にお聞きします。

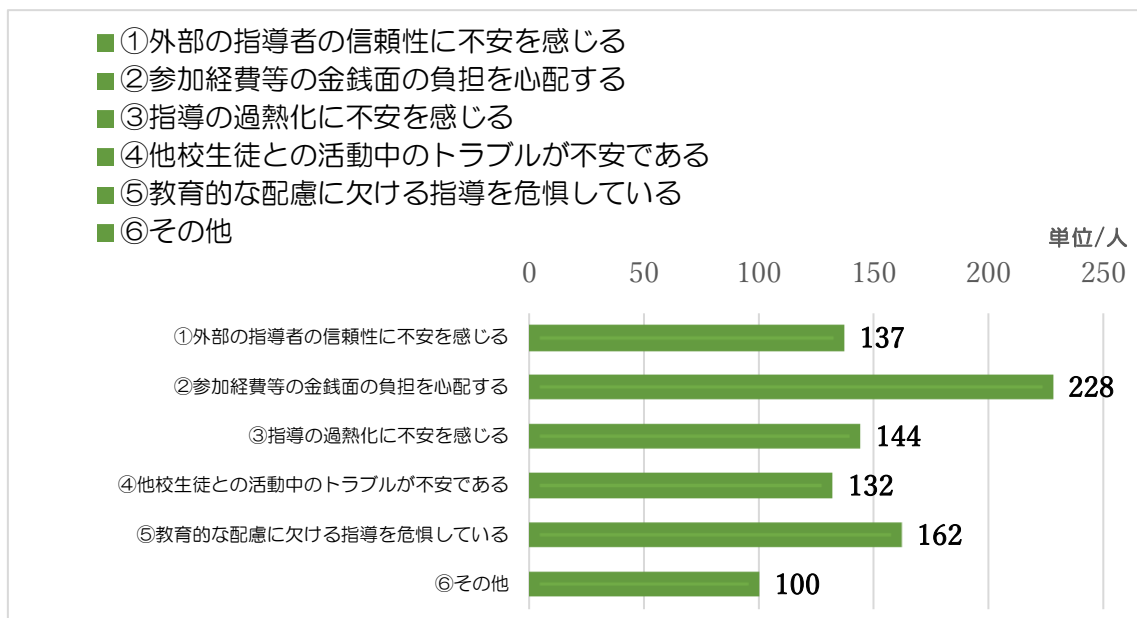
賛成の理由としてあてはまるものを教えてください。(複数選択可)



■ 地域移行の賛成の大きな理由は、専門的な指導を受けることができること、子どもが希望する競技(活動)ができること、学校の先生の負担が軽減されることである。

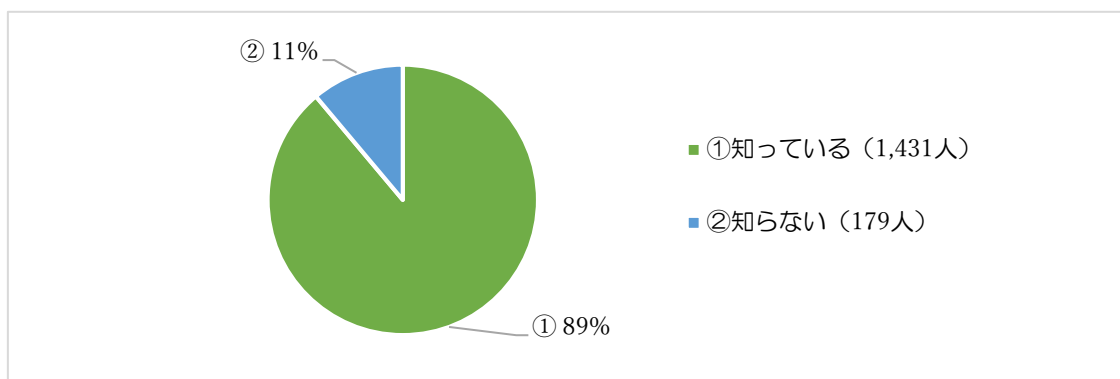
Q9 Q7で③か④と回答した人にお聞きします。

反対の理由としてあてはまるものを教えてください。(複数選択可)



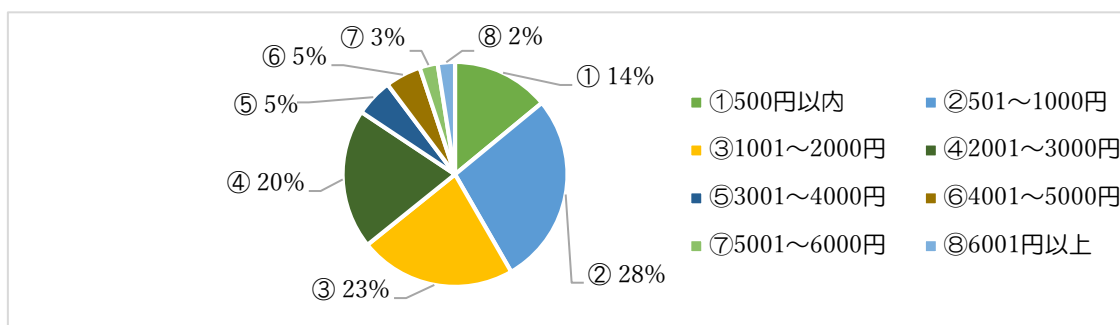
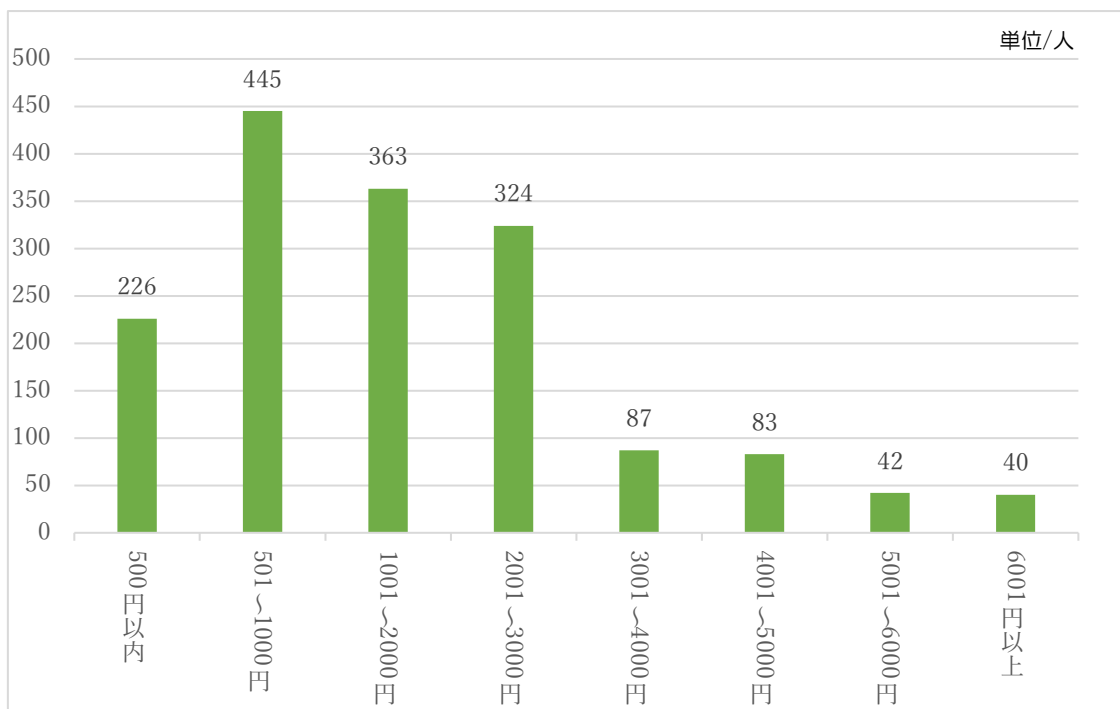
■ 参加経費等の金銭面(経済面)の不安が一番大きい。また、教育的配慮がなされるかなど指導内容、指導環境に不安を感じている。

Q10 先生の負担軽減について、学校における教員の長時間労働の要因の一つが、部活動であることを知っていますか



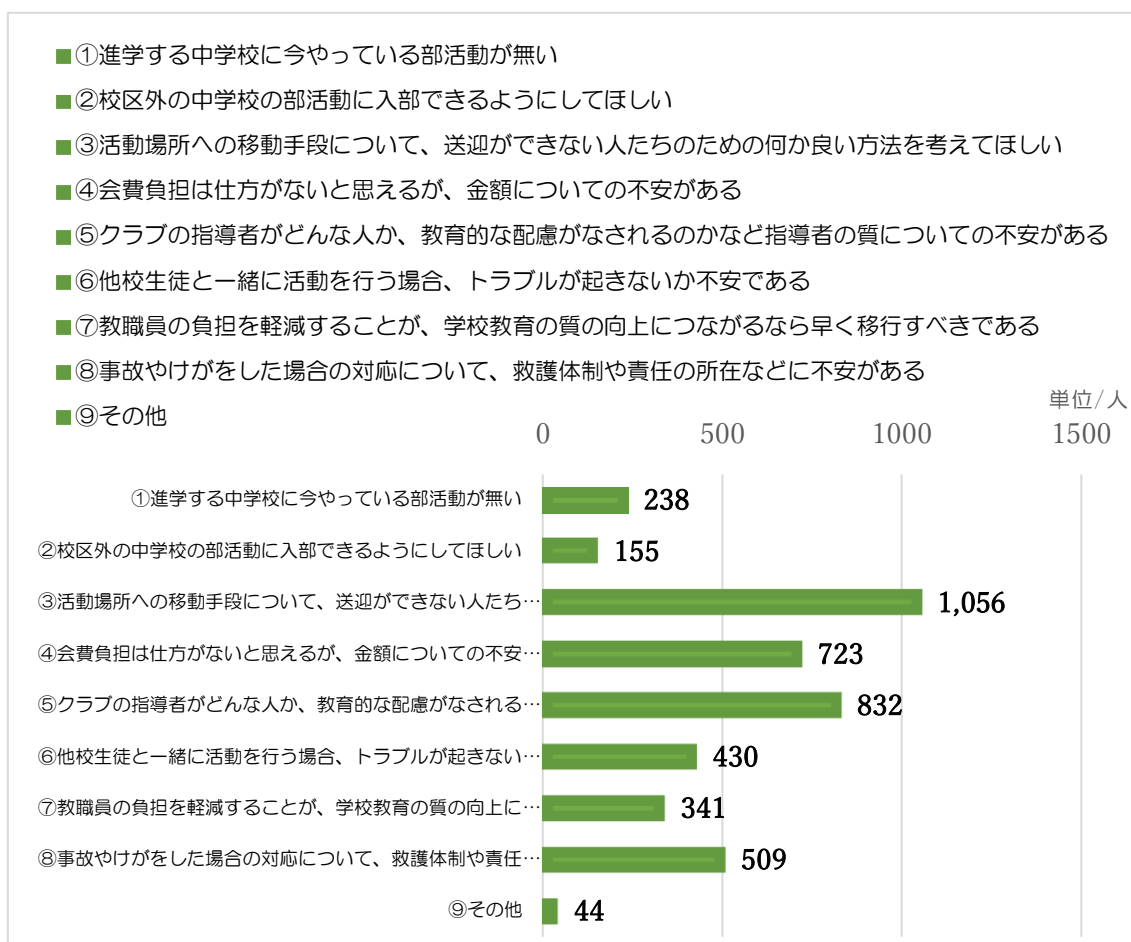
■ 約90%の保護者が認識されている。

Q11 学校部活動に代わって、文化・スポーツ活動の場を提供する地域のクラブにおいては、会費として指導者への謝礼や活動費等の経費を負担することとなりますが、月ごとの費用は、どの程度が適当であると考えますか。



■ 保護者の85%が、500円から3,000円が適当と回答。

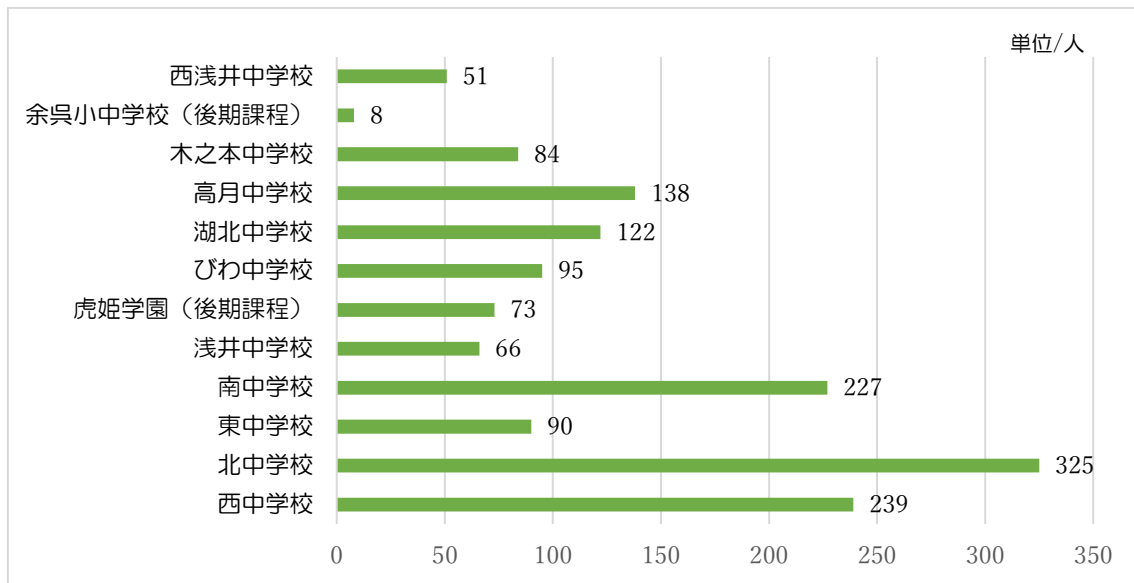
**Q12 中学校の部活動の地域移行は、今後、国のガイドラインに沿って検討されていきますが、疑問や不安、ご意見等で当てはまることを教えてください。（複数選択可）**



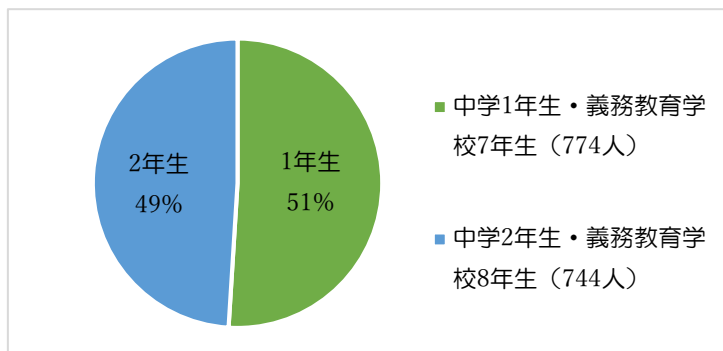
■ 活動場所への送迎手段が最も多い。次に教育的指導がなされるのかといった指導者の質、会費負担（経済的負担）と続く。

回答数 1,518人/2,116人 (回答率：71.7%)

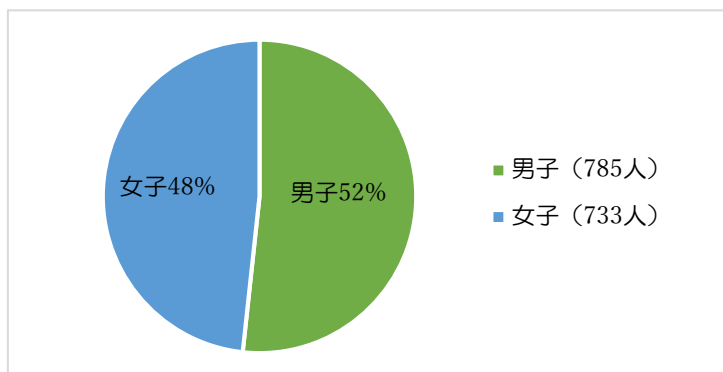
Q1 学校名を教えてください。



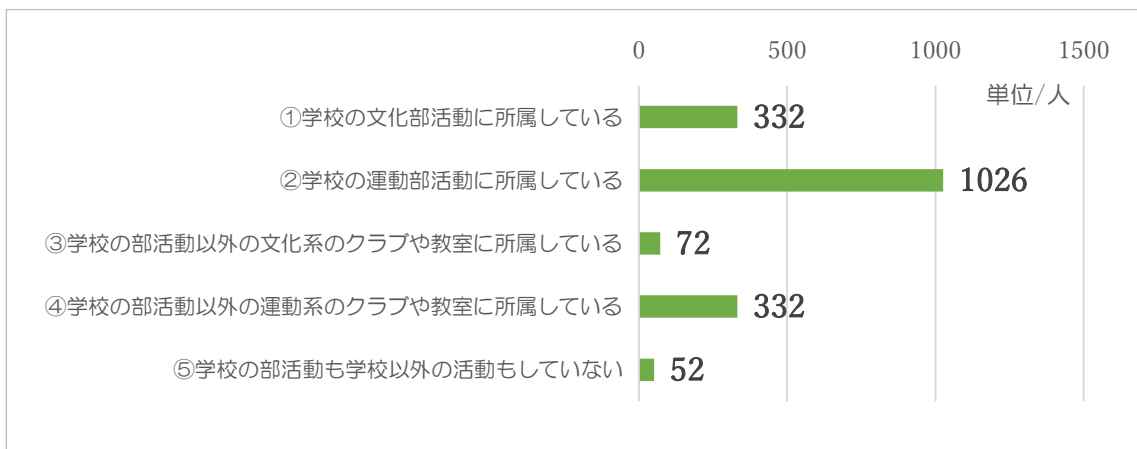
Q2 学年を教えてください。



Q3 性別を教えてください。



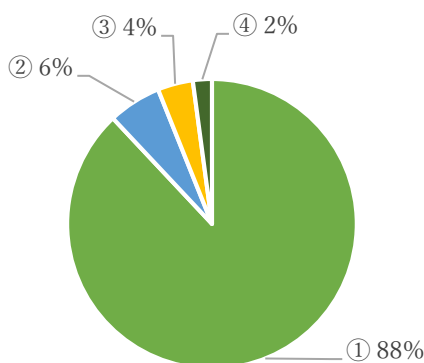
Q4 現在の文化・スポーツに関する活動状況について教えてください。（複数選択可）



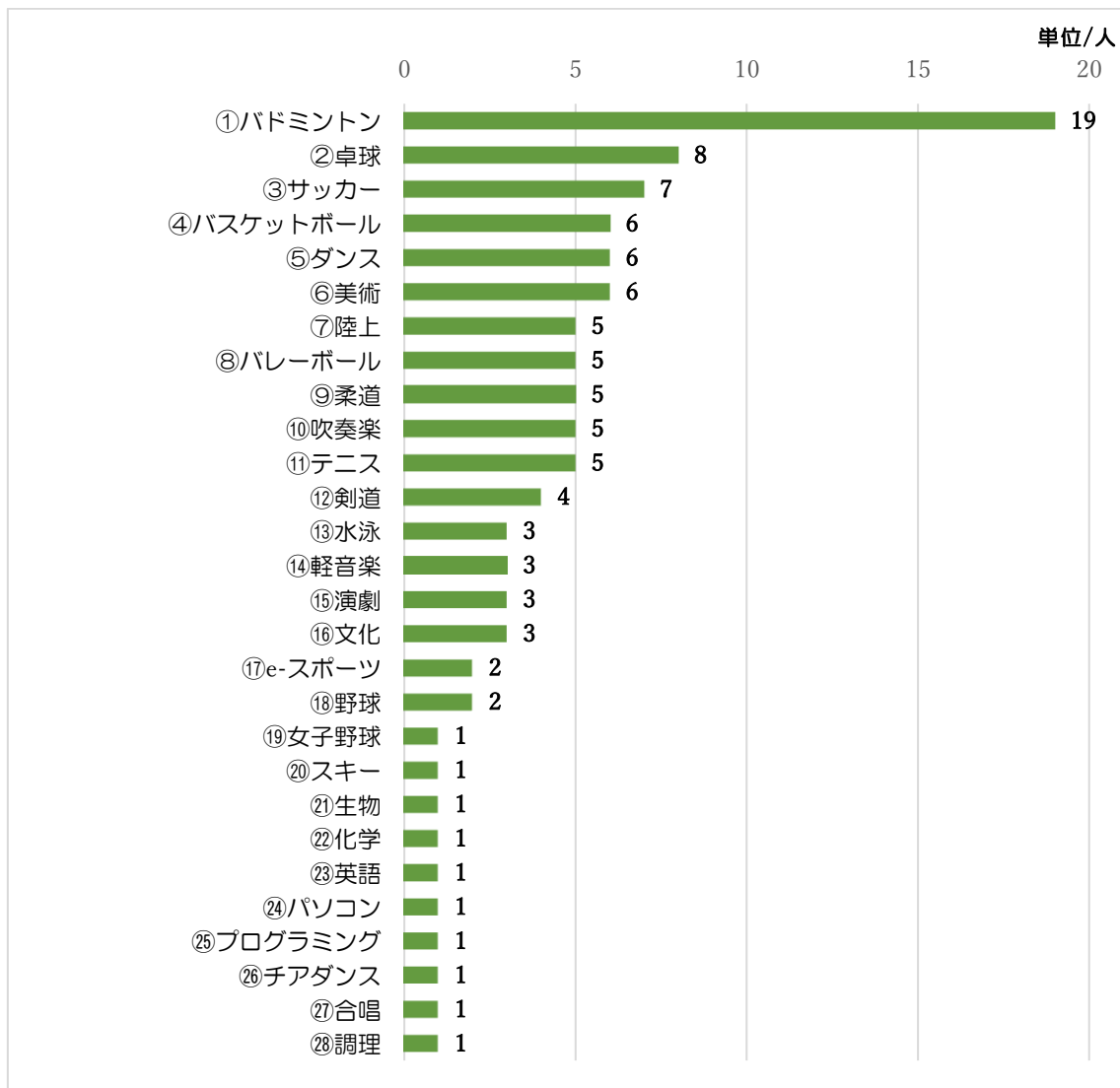
■ 89%の生徒が学校部活動に所属している。27%の生徒が学校部活動以外のクラブ等で活動している。

Q5 Q4で①か②と回答した人にお聞きします。自分が希望する部活動に入部できていますか？

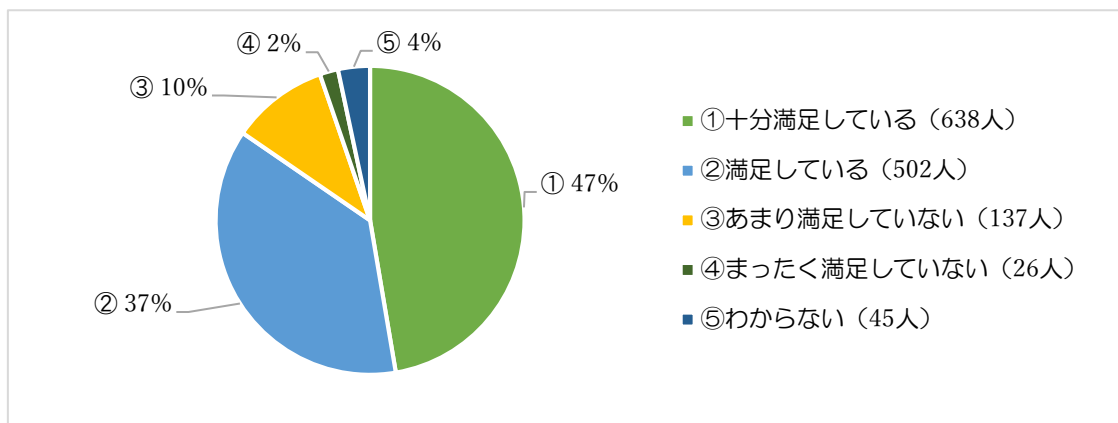
- ①希望する部活動に所属している（1,203人）
- ②希望していなかったが、希望する種目がないのでしかたなく今の部に所属している（81人）
- ③みんなが入っているので、なんとなく所属している（54人）
- ④その他（29人）



Q6 Q5で②と回答した人にお聞きします。本来やりたい部活動は何ですか。

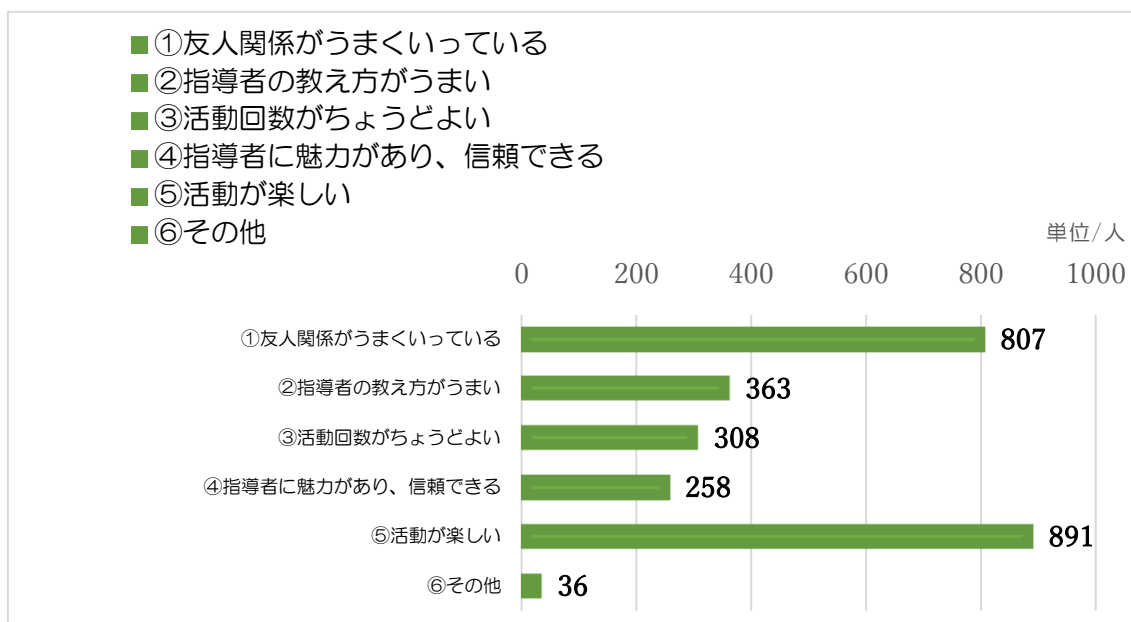


7 Q4で①か②と回答した人に、所属している部活動の満足度についてお聞きします。



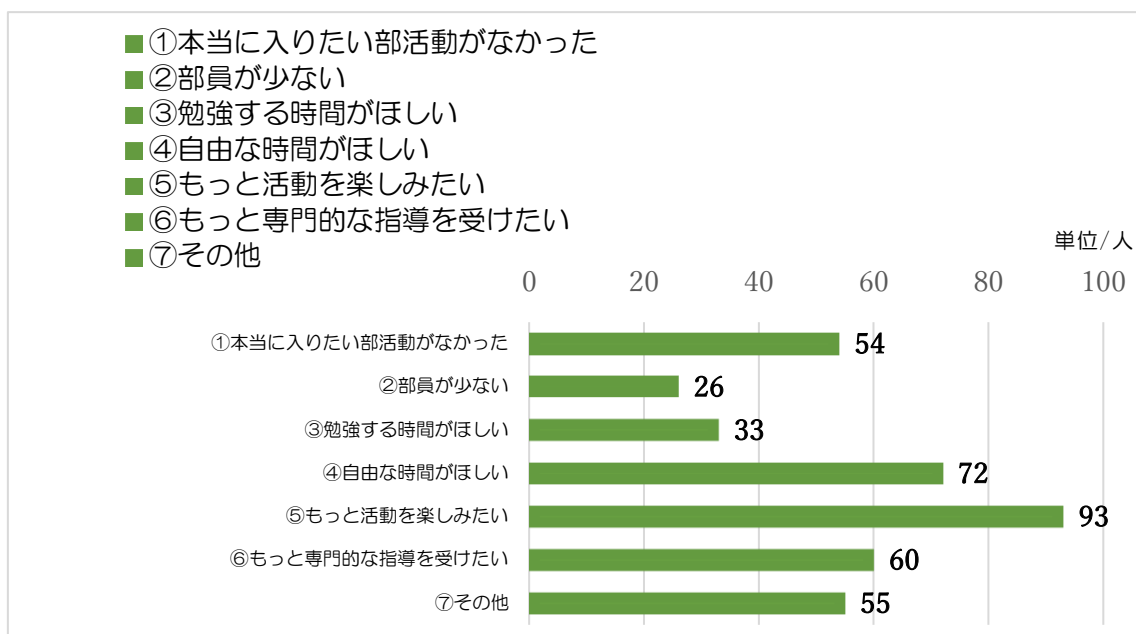
■ 生徒の47%が十分に満足と回答。満足を含めると84%の生徒が学校部活動に満足している。

Q8 Q7で①か②と回答した人にお聞きします。その理由について教えてください。  
(複数選択可)



■ 満足の理由は、「活動が楽しい」が最も多く、次に、「友人関係がうまくいっているから」と回答。

Q9 Q7で③か④と回答した人にお聞きします。その理由について教えてください。  
(複数選択可)



■ 満足していない理由は、「もっと活動を楽しみたい」との回答とともに、「自由な時間がほしい」との回答が多数。

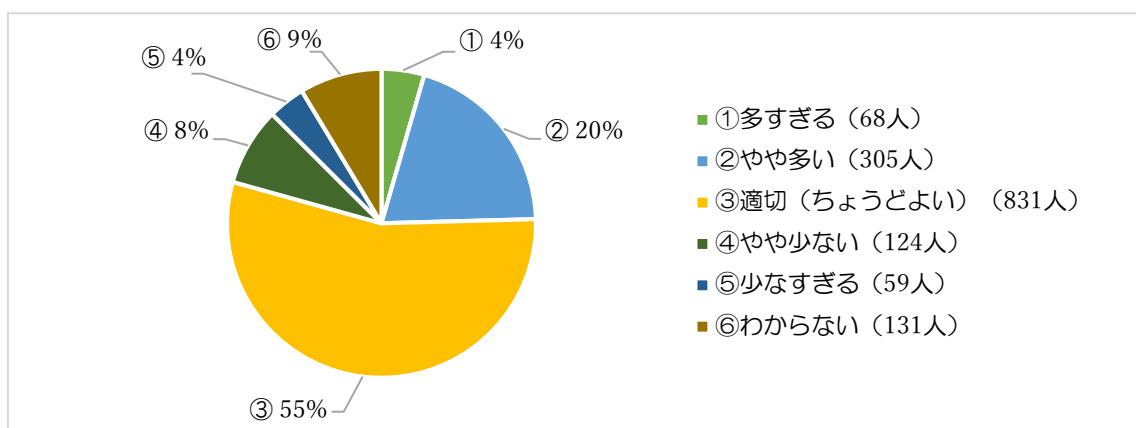


Q10 Q4で③か④と回答した人にお聞きします。なぜ学校の部活動ではないクラブやクラブチーム、教室に所属していますか。理由を教えてください。（複数選択可）



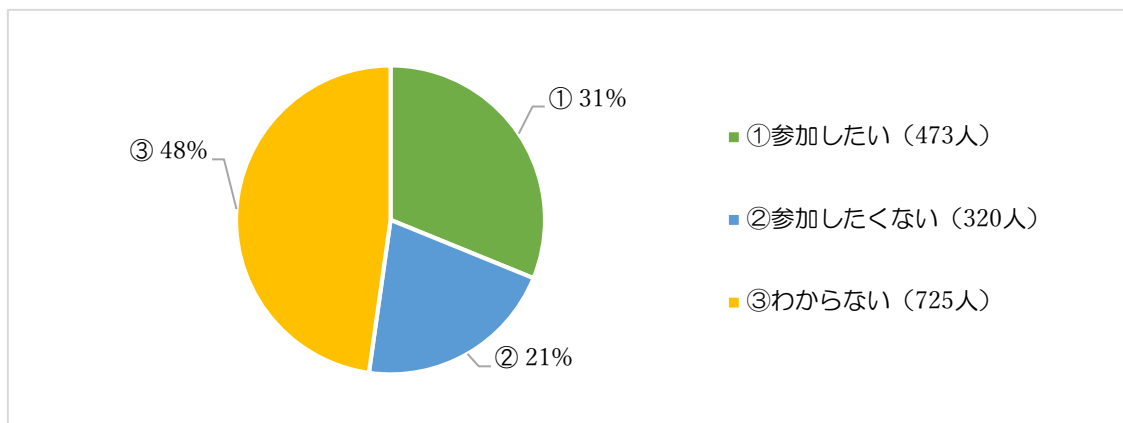
■ 学校部活動に参加していない生徒は、自らの意志でより専門的な指導受けるため、将来も見据え選択している。「学校にやりたい部活動がない」を理由にしている生徒は比較的少ない。

Q11 現在の中学校の部活動の活動時間は適切だと思いますか。



■ 「適切」と55%が感じている。20%が「やや多い」と回答。

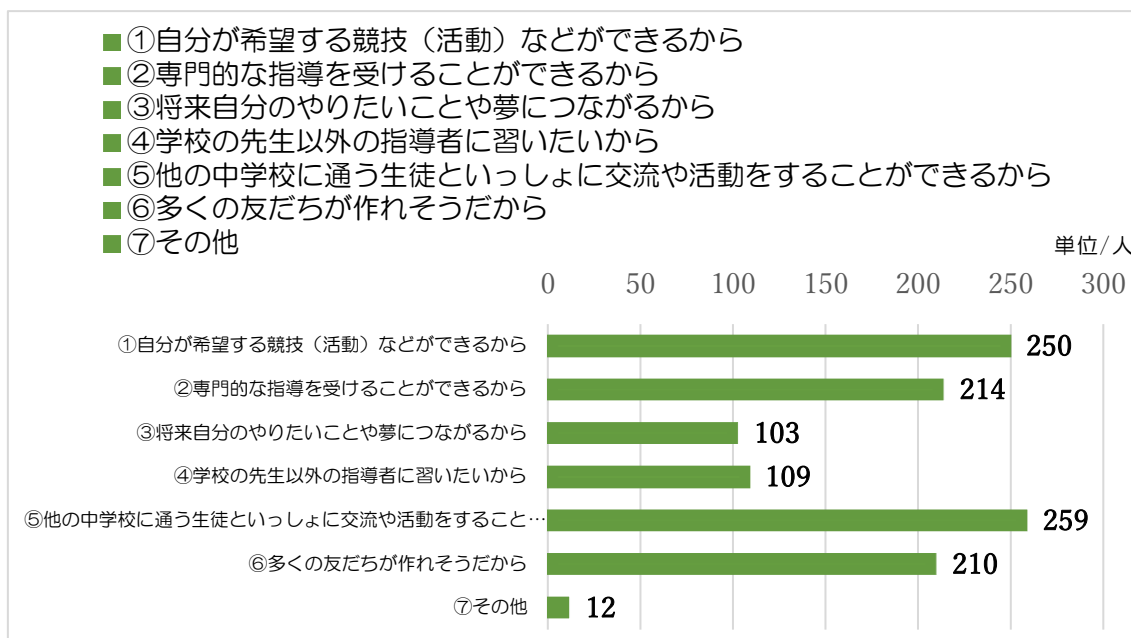
Q12 現在、中学校の部活動は、休日の活動から地域のクラブなどへ移行（地域移行）が検討されています。地域移行によって、これまで学校にはなかった競技などに参加できたり、学校の先生ではない方から指導を受けたり、また他の中学校の生徒と一緒に活動する可能性があります。そのような活動に参加したいと思いますか。



- 「参加したい」と「参加したくない」は、ほぼ半々である。  
「わからない」と回答した生徒が48%と半数近くいる現状である。

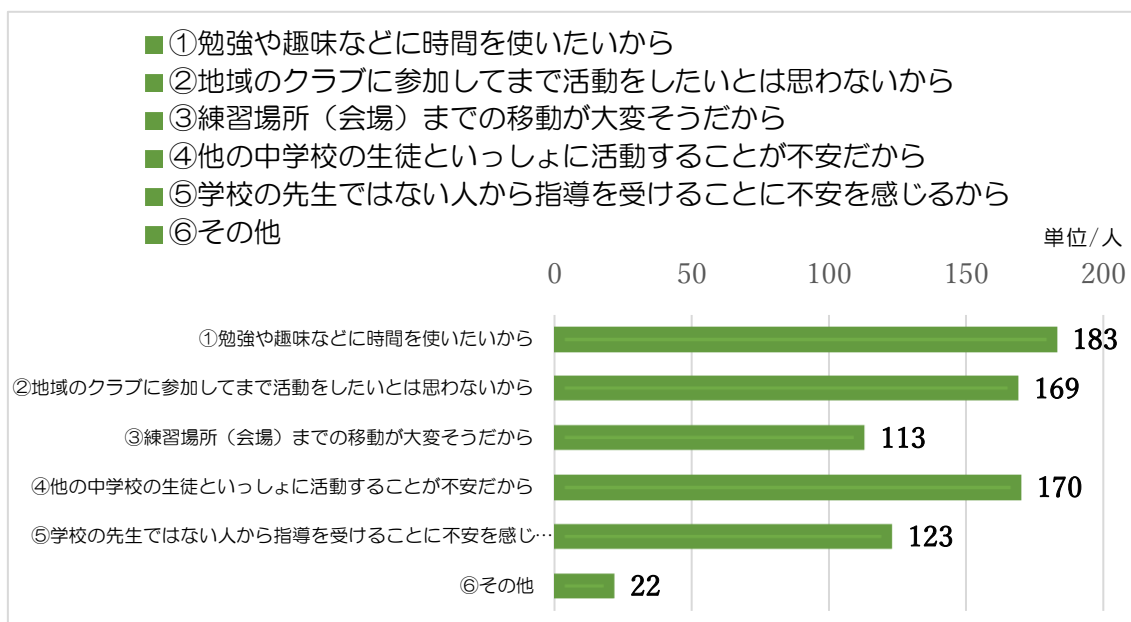
Q13 Q12で①と回答した人にお聞きします。

その理由として当てはまることを教えてください。（複数選択可）



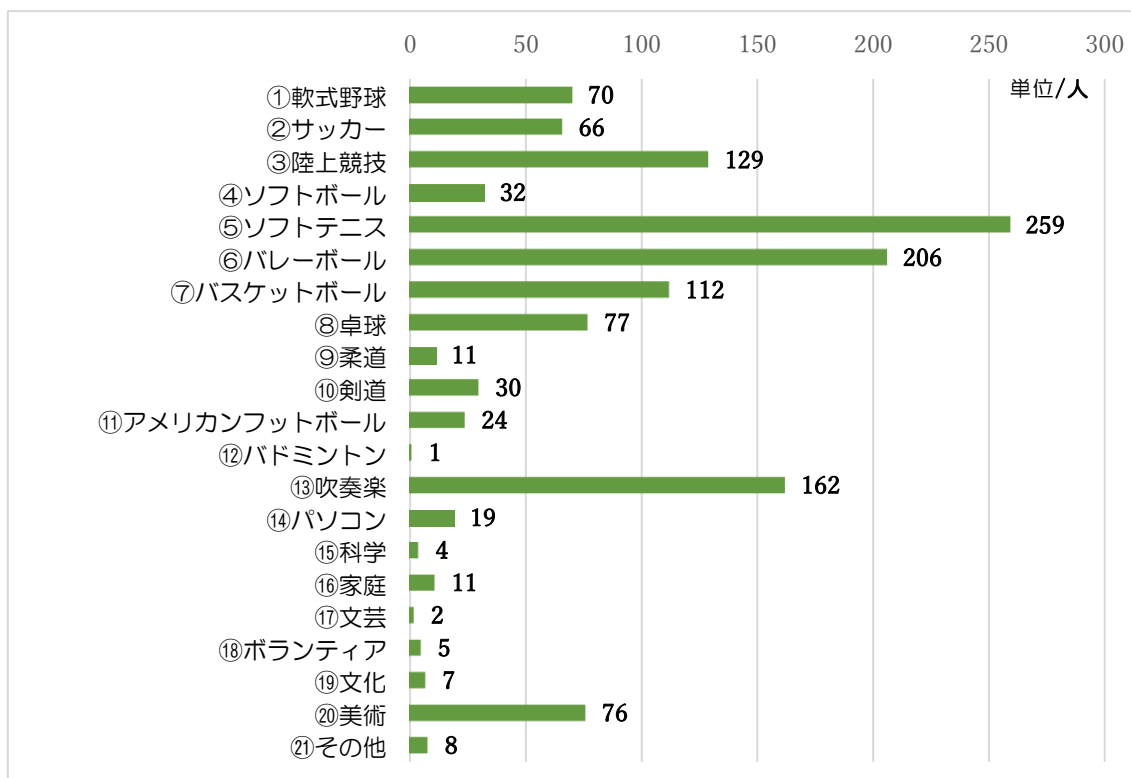
Q14 Q12で②と回答した人にお聞きします。

その理由として当てはまることを教えてください。(複数選択可)



Q15 Q4で①か②と回答した人にお聞きします。

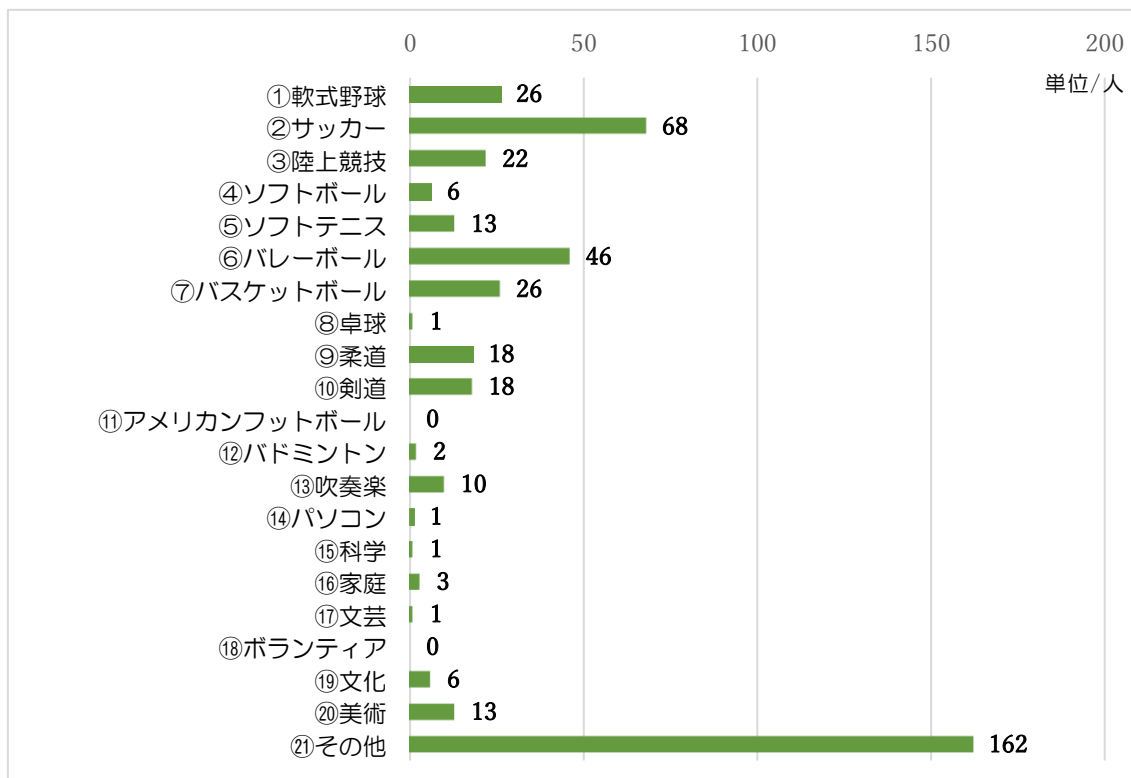
現在入部している部活動の種目を教えてください。(複数選択可)



Q16 Q4で③か④と答えた人にお聞きします。

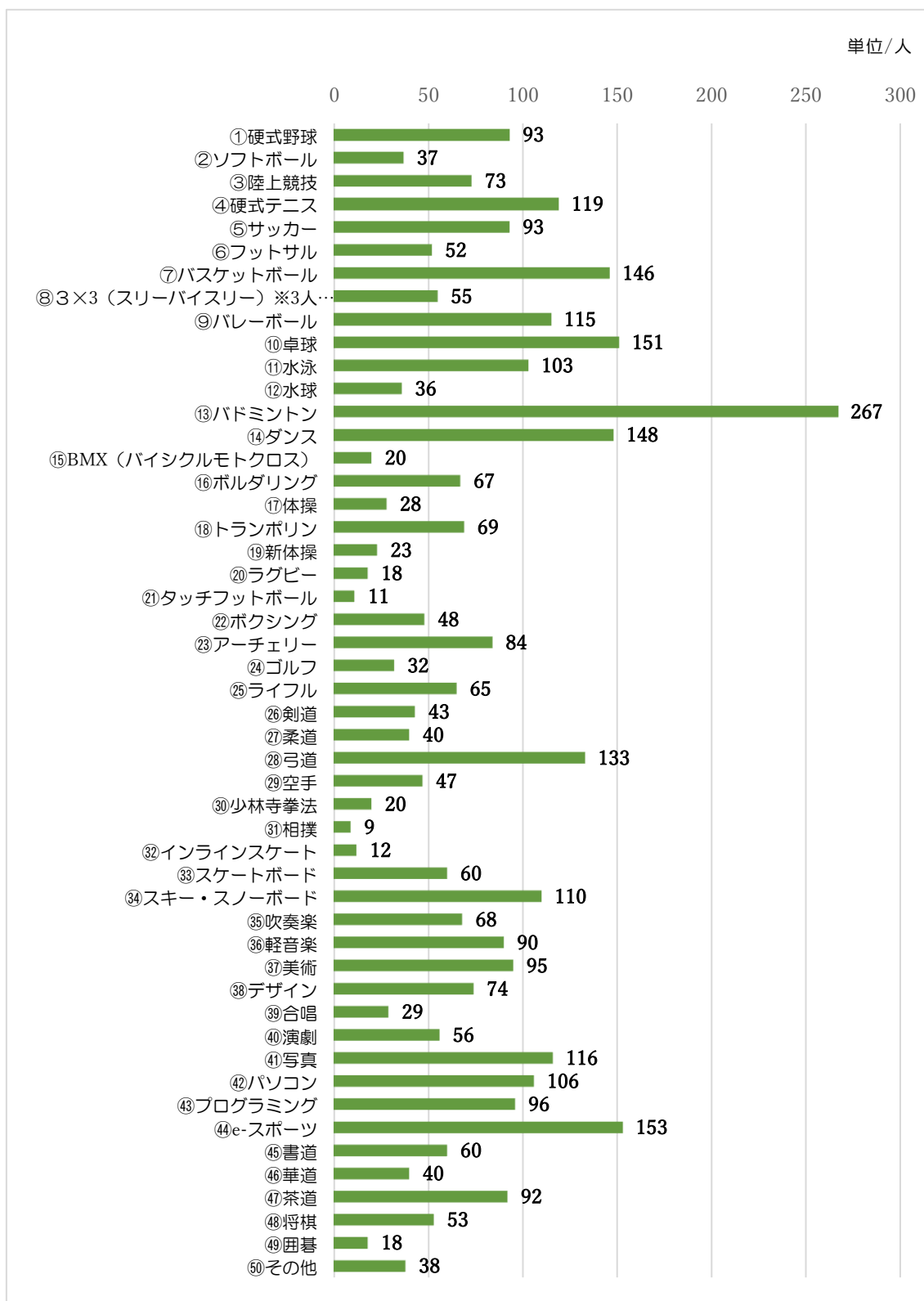
学校の部活動以外に入っているクラブチームや習いごとを教えてください。

(複数選択可)



Q17 現在、学校の部活動や学校の部活動以外の地域クラブやクラブチームに入り取り組  
んでいる種目や教室以外に、どのような活動をやってみたいと思いますか。

(複数選択可)

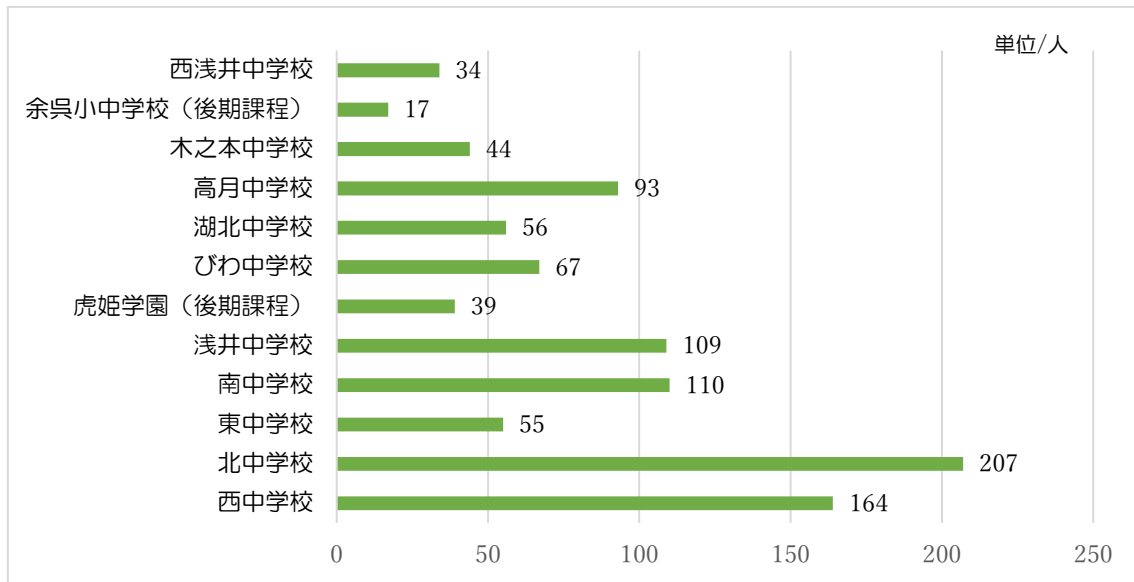


# 長浜市 部活動アンケート

保護者対象（中学校1・2年生）  
（義務教育学校7・8年生）

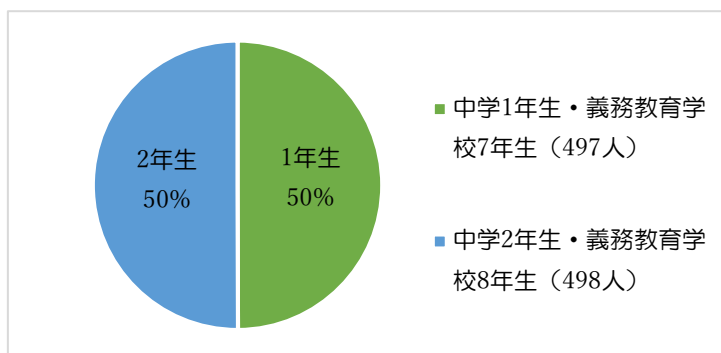
回答数 995 人/2,235 人（回答率：44.5%）

Q1 お子さんの学校名を教えてください。

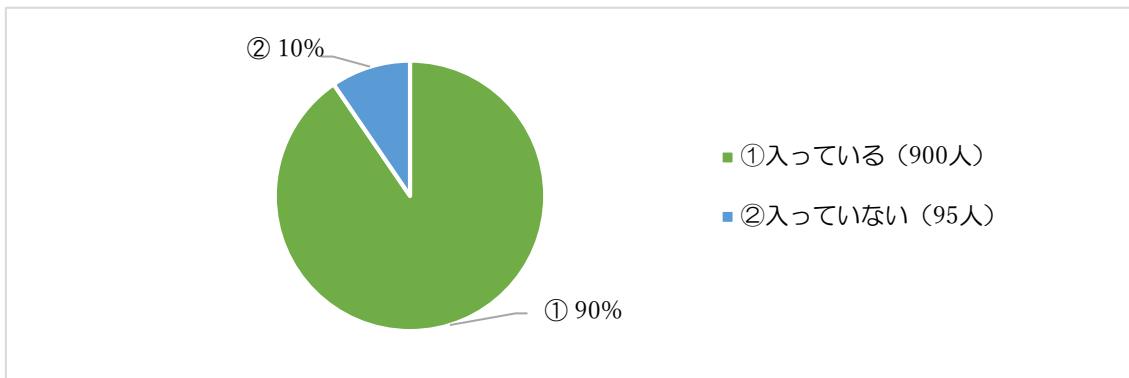


Q2 お子さんの学年を教えてください。※1,2年生に複数のお子さんがおられる場合は、上級生のお子さん1人を対象にお願いします（以下同じ）。

※義務教育学校7年生8年生につきましては、中学校1年生2年生と置き換えてご回答ください（以下同じ）。

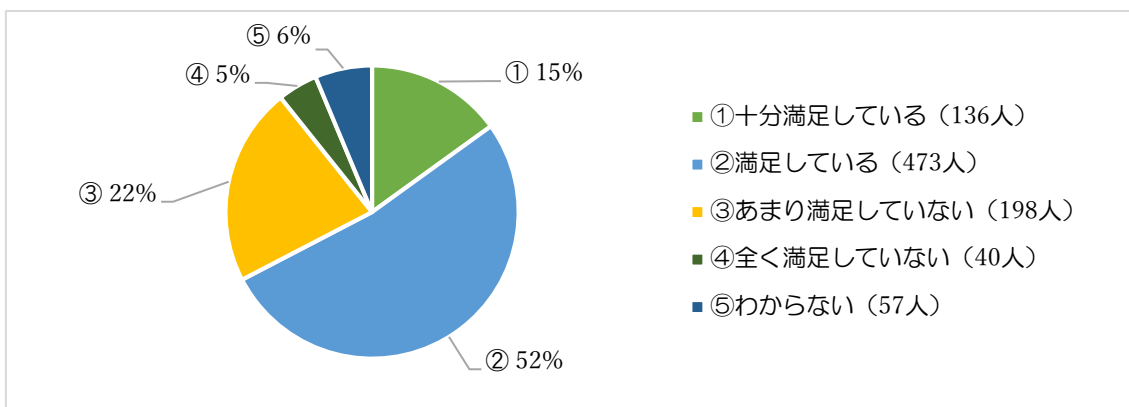


Q3 お子さんは、現在中学校の部活動に入っていますか。



Q4 Q3で①と答えた方にお聞きします。

お子さんの所属する部活動の満足度（保護者としての満足度）について教えてください。



■ 保護者は、現在の学校部活動には67%が満足している。（生徒は84%が満足と回答）

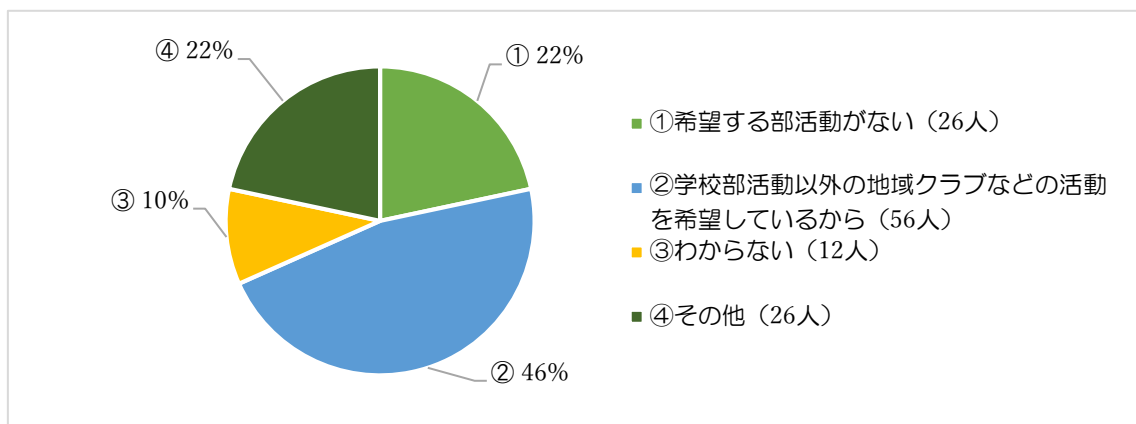
Q5 Q4で①か②と回答した人にお聞きします。

その理由について教えてください。（複数選択可）



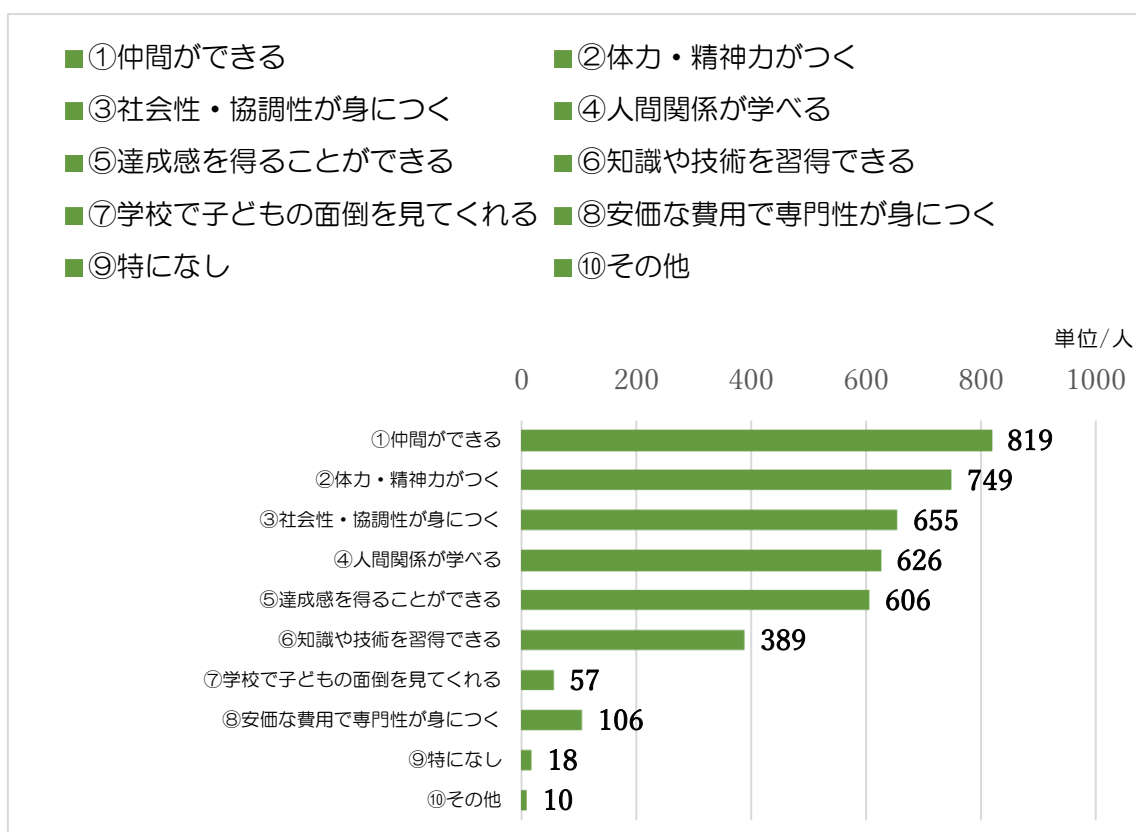
■ 保護者は、技術指導よりも友人関係や部活頻度に関心が強い。

Q6 Q3で②と回答された人にお聞きします。  
入っていない理由を教えてください。



■ 学校部活動に入らない理由は、「地域クラブを希望しているから」が最も多い。

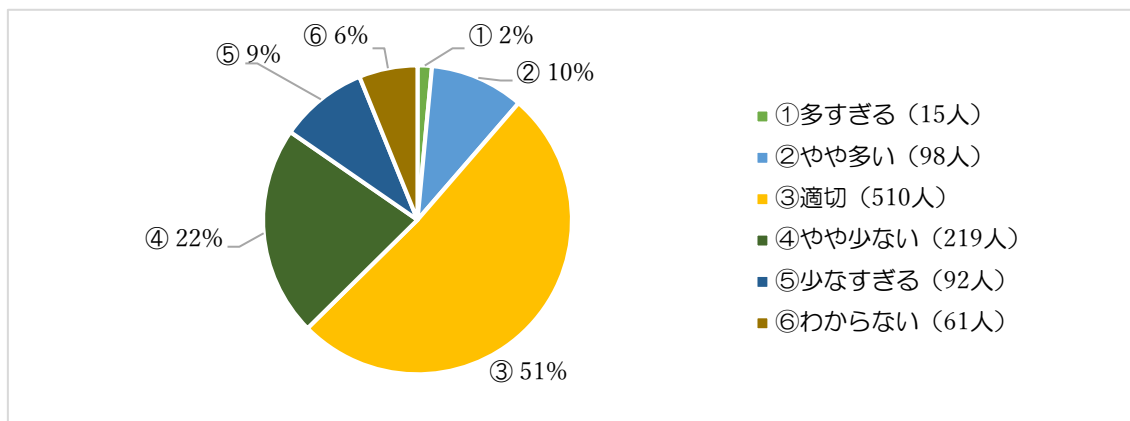
Q7 学校の部活動のメリットについてお聞きします。  
どんなことに期待されていますか。(複数選択可)



■ 学校部活動には、技術指導より、友人関係、人間関係、社会性・協調性を期待している。また、体力・精神力の習得にも期待は大きい。



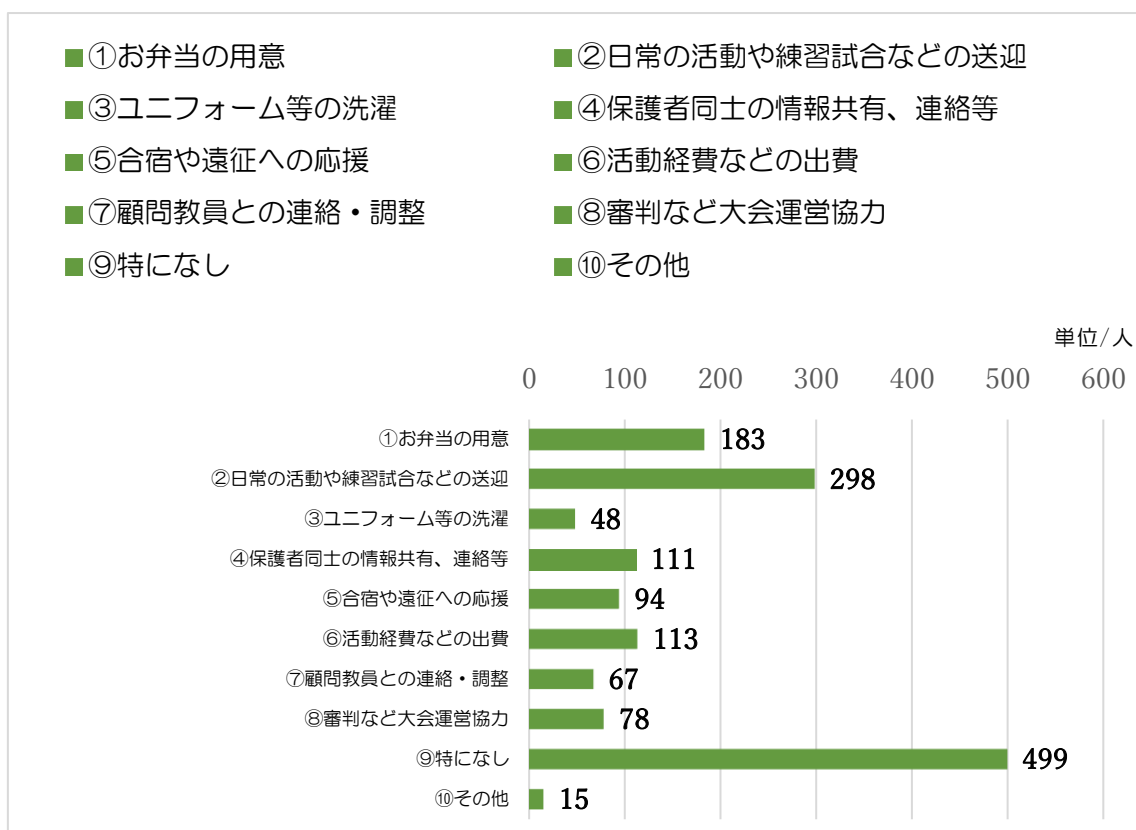
Q8 現在の中学校の部活動の活動時間は適切だと思いますか。



■ 51%が適切と回答。続いて「やや少ない」が22%と高い。「多い」、「やや多い」は合わせて12%。

Q9 中学校の部活動で負担に感じることは何ですか。(複数選択可)

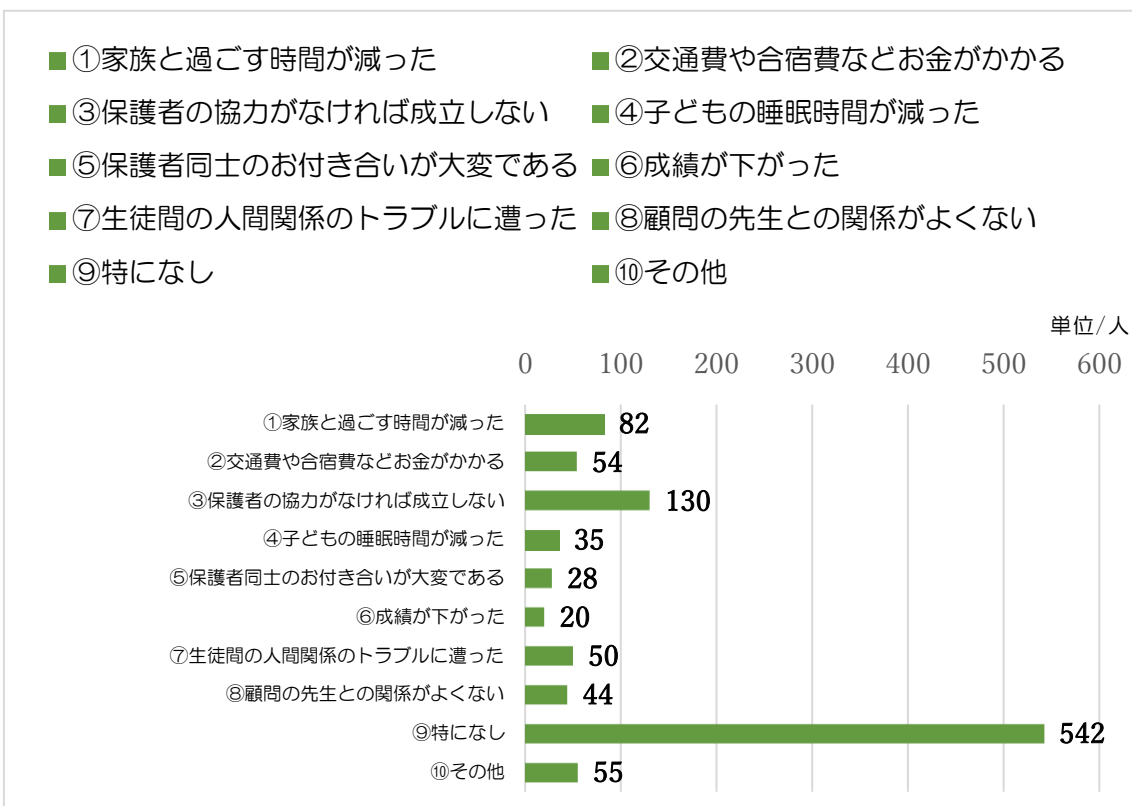
※お子さんが部活動に入っていない方は、入っていると仮定してお答えください。



■ 「特になし」の回答が最も多い。

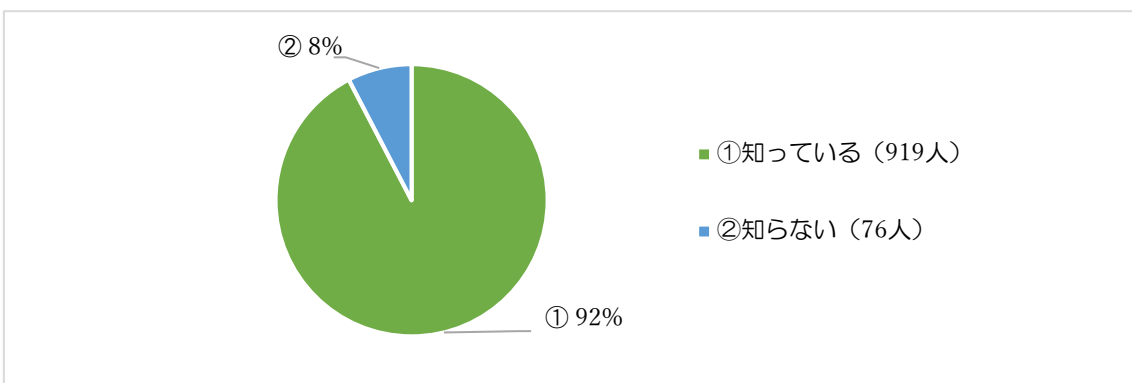
Q10 Q3で「①入っている」と答えた方にお聞きします。

部活動での悩みを教えてください。(複数選択可)

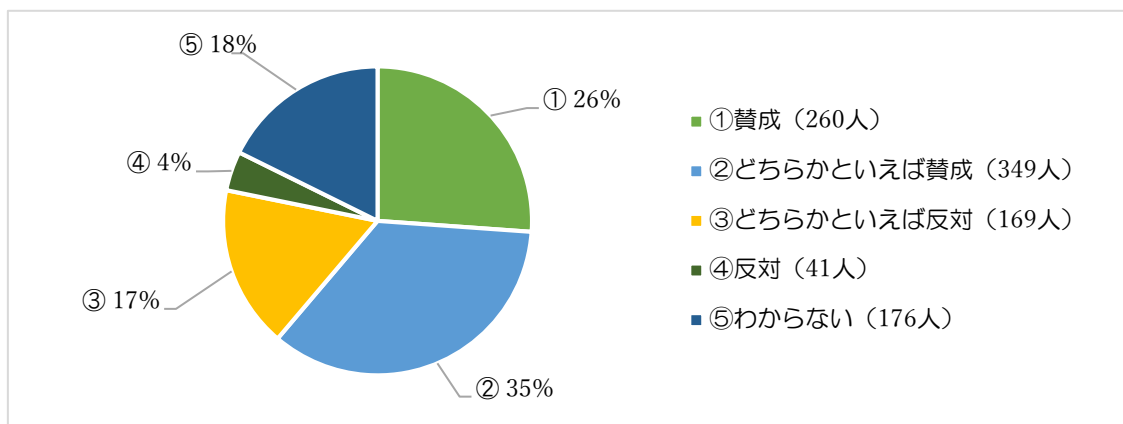


■ 「特になし」の回答が最も多い。

Q11 学校における教員の長時間労働の大きな要因の一つが部活動であることを知っておられますか。



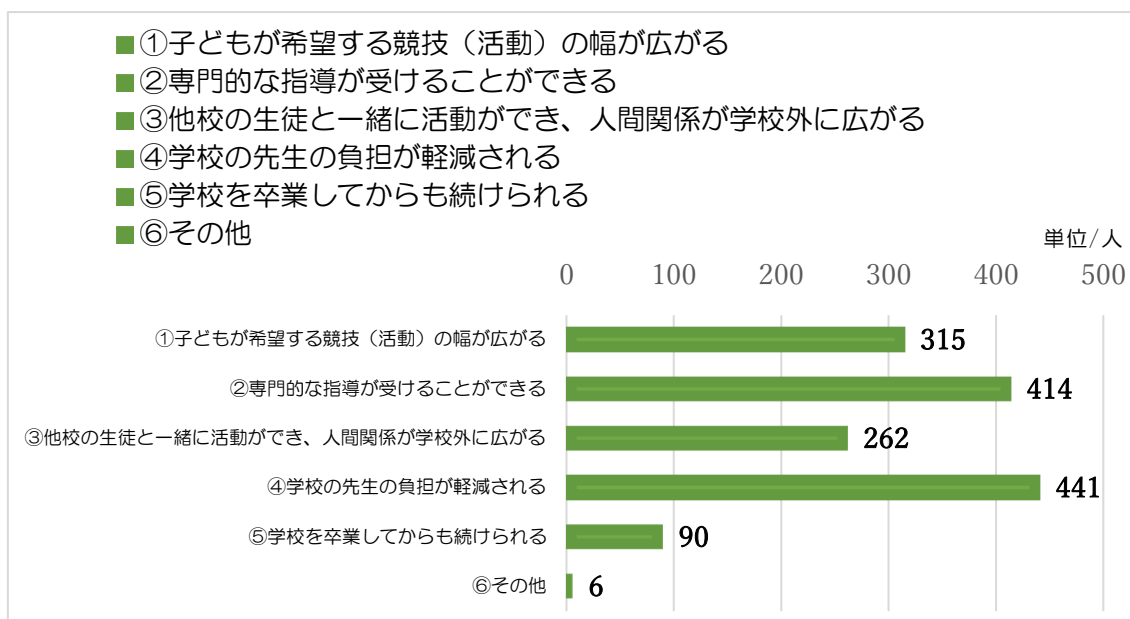
Q12 今後、中学校の部活動が地域のクラブなどに移行していく（地域移行）ことについて賛成ですか。



■ 「賛成」、「どちらかといえば賛成」と61%が回答。「反対」、「どちらかといえば反対」は21%。一方「わからない」と回答した保護者も18%いる。

Q13 Q12で①・②に回答された人にお聞きします。

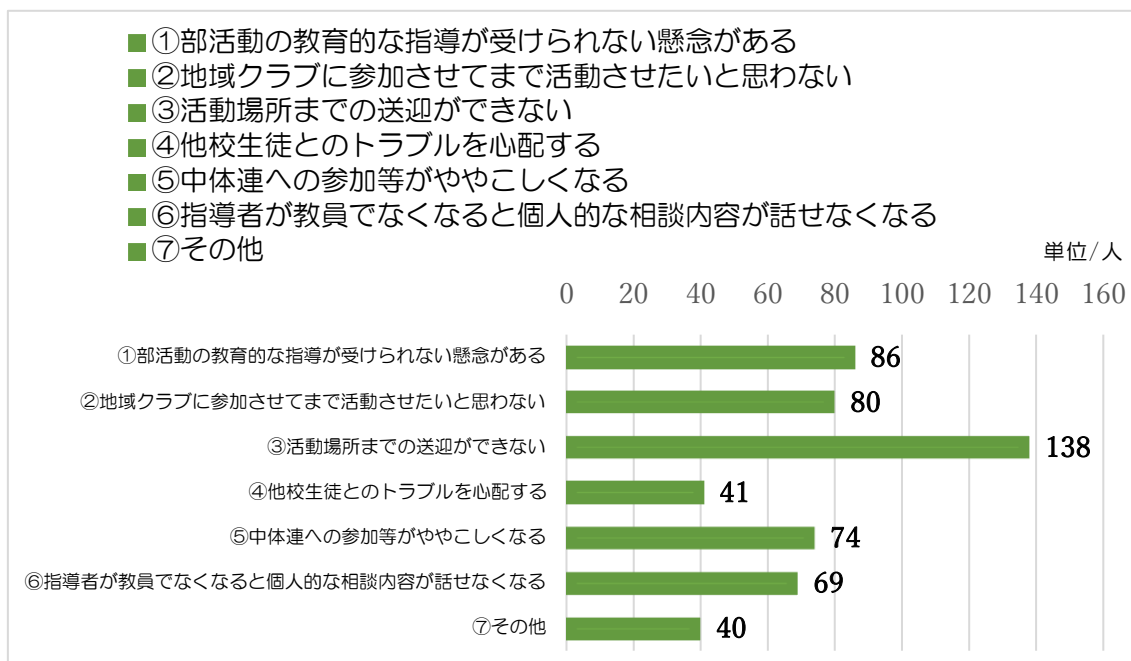
賛成の理由として当てはまるものを教えてください。（複数選択可）



■ 保護者の賛成の理由は、「教員の負担が軽減されること」が最も多い。

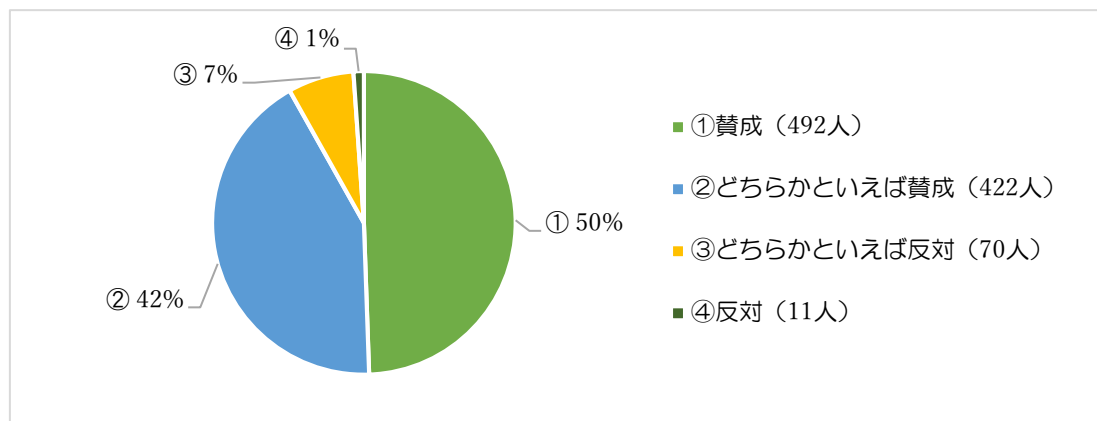
Q14 Q12で③・④に回答された人にお聞きします。

反対の理由として当てはまるものを教えてください。(複数選択可)

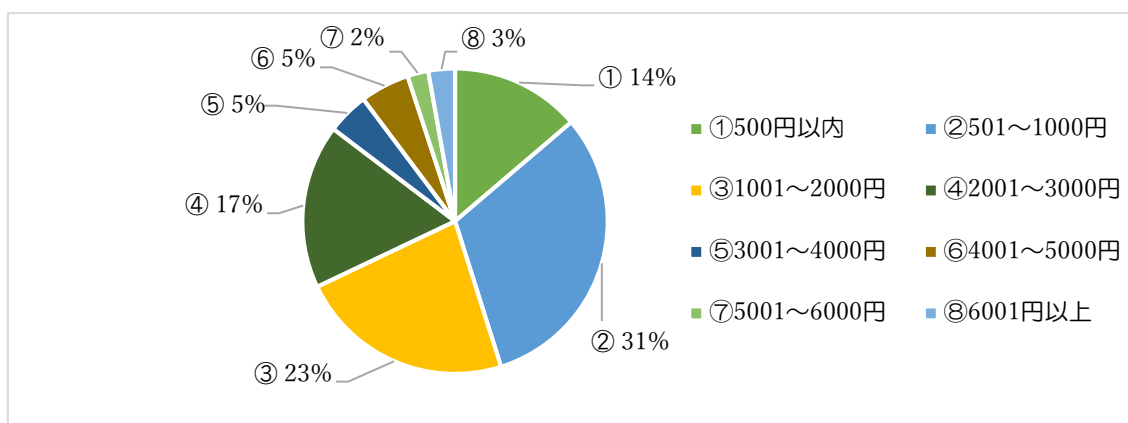
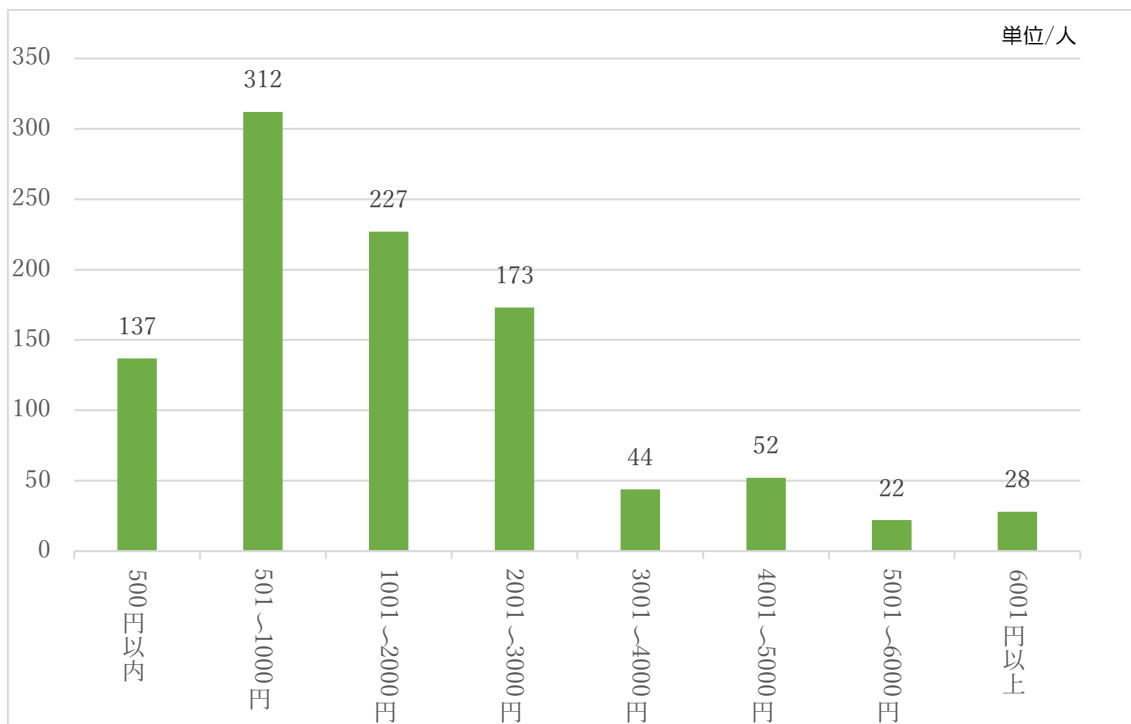


■ 反対理由の一番は、「活動場所までの送迎ができない」である。

Q15 学校部活動が地域移行した場合の指導者は、教職員のほか、専門性のある外部の指導者などを検討していますが、それについてどのように思われますか。



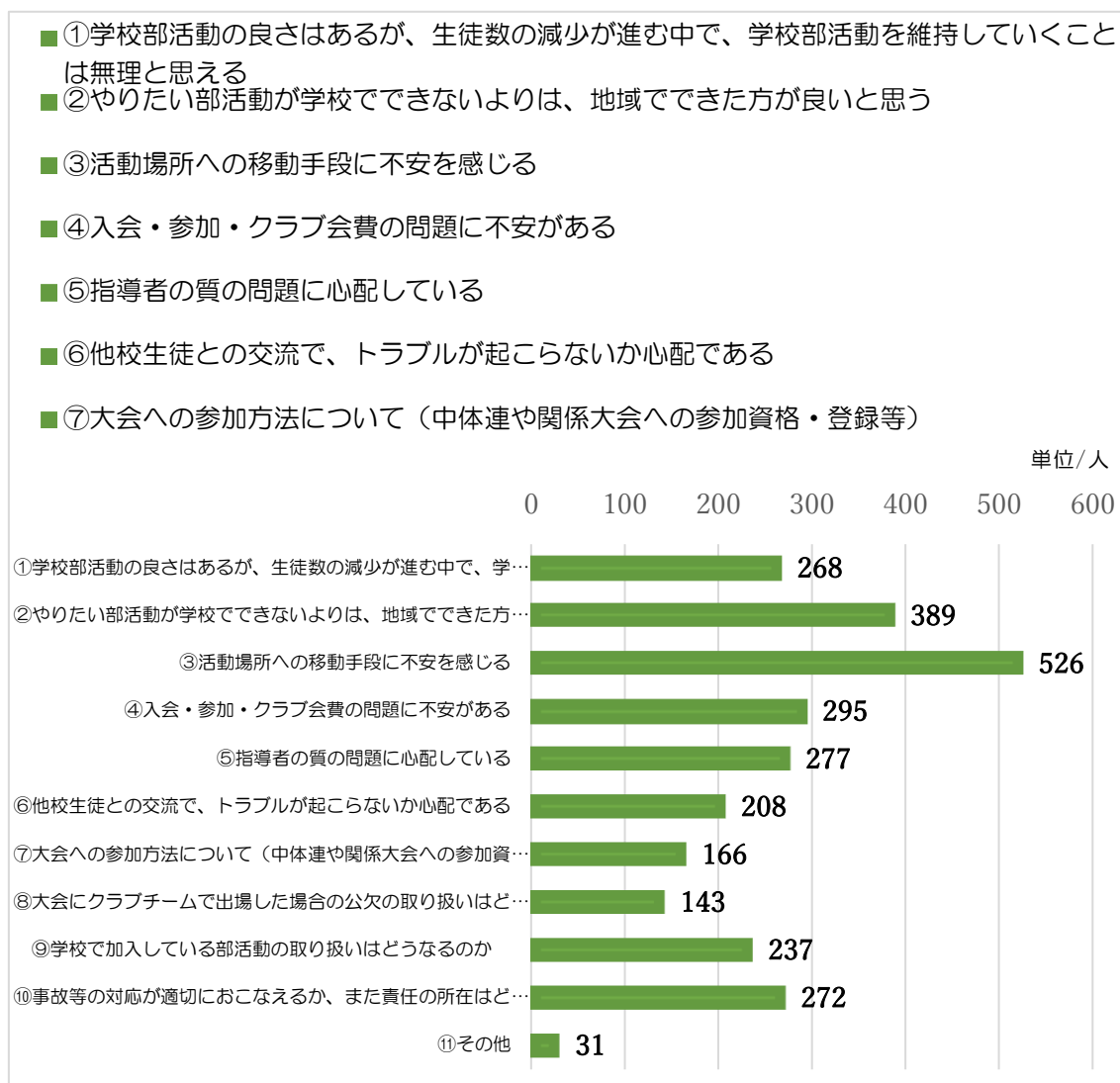
Q16 学校部活動に代わって、文化・スポーツ活動の場を提供する地域のクラブにおいては、会費として指導者への謝礼や活動費等の経費を負担することとなりますが、月ごとの費用は、どの程度が適当であると考えますか。



■ 保護者の85%が、500円から3,000円が適当と回答。

(小学生保護者も500円から3,000円が適当と85%が回答。)

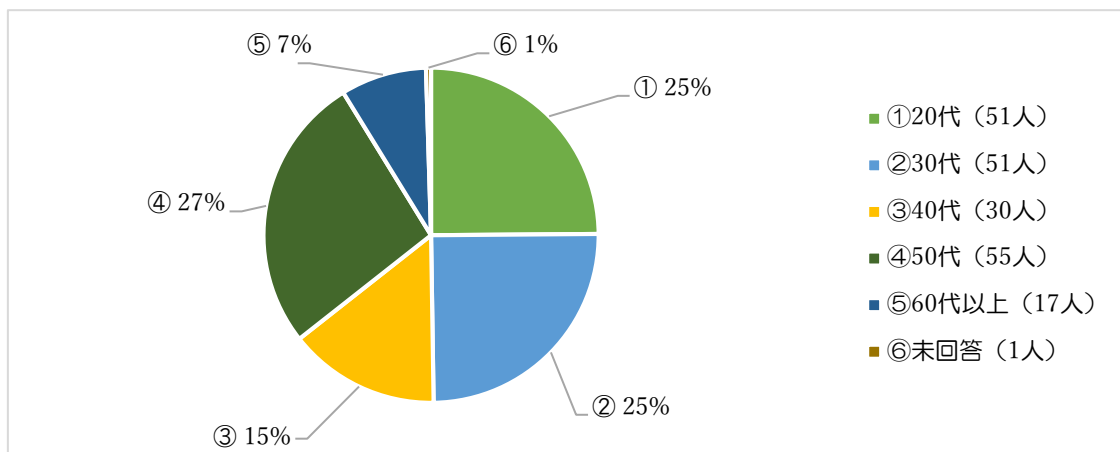
Q17 中学校の部活動の地域移行は、今後、国のガイドラインに沿って検討されていきま  
すが、意見や疑問、不安に感じることがありましたら教えてください。(複数選択可)



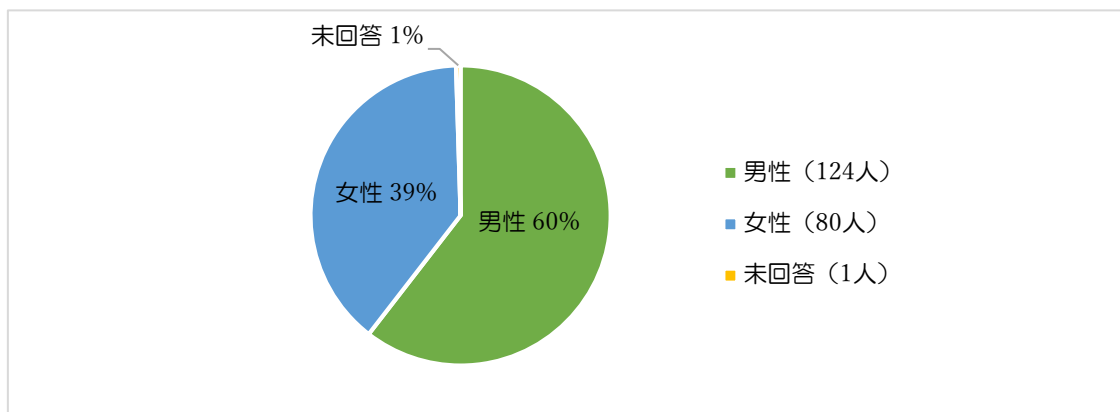
■ 不安な理由は、「活動場所までの移動手段」が最も多い。その他、不安材料は多岐にわたる。

回答数 205 人/278 人 (回答率 : 73.7%)

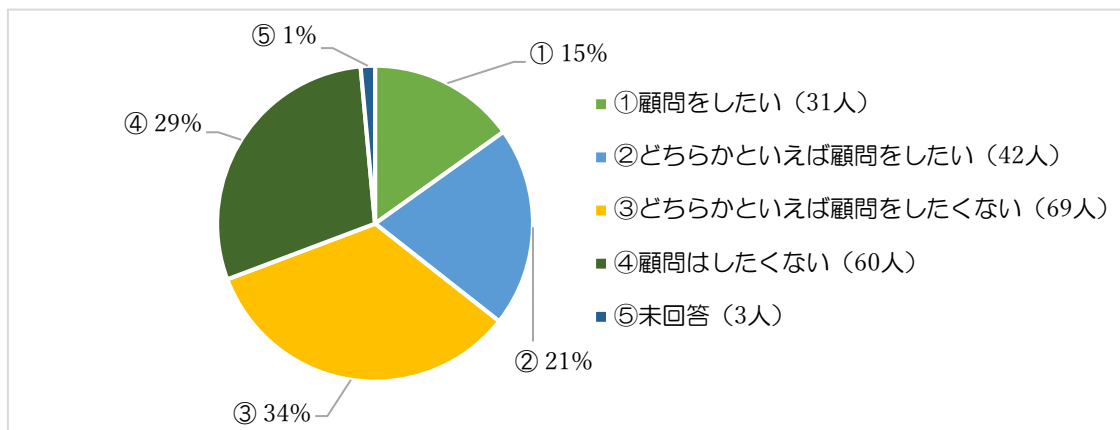
Q1 年代を教えてください。



Q2 性別を教えてください。

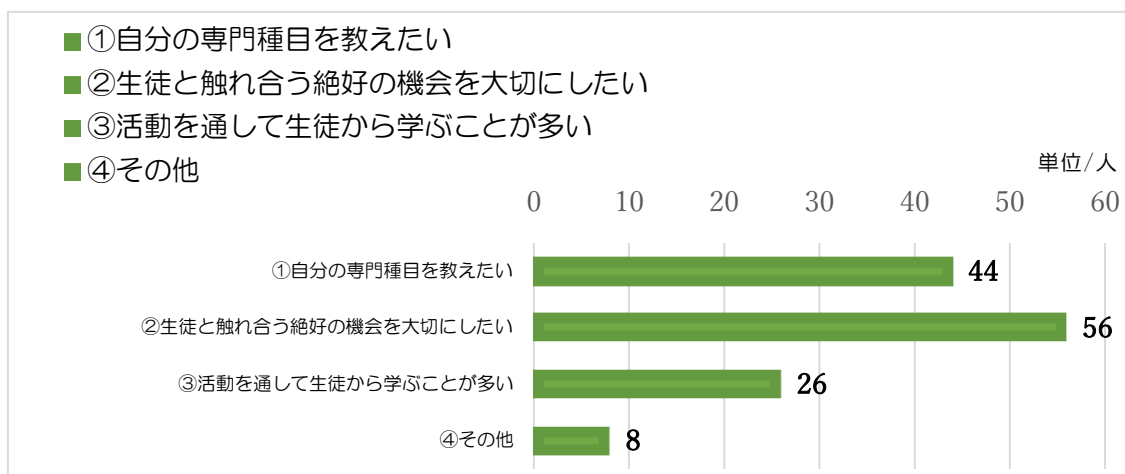


Q3 部活動の顧問について、あなたの思いをお聞きします。



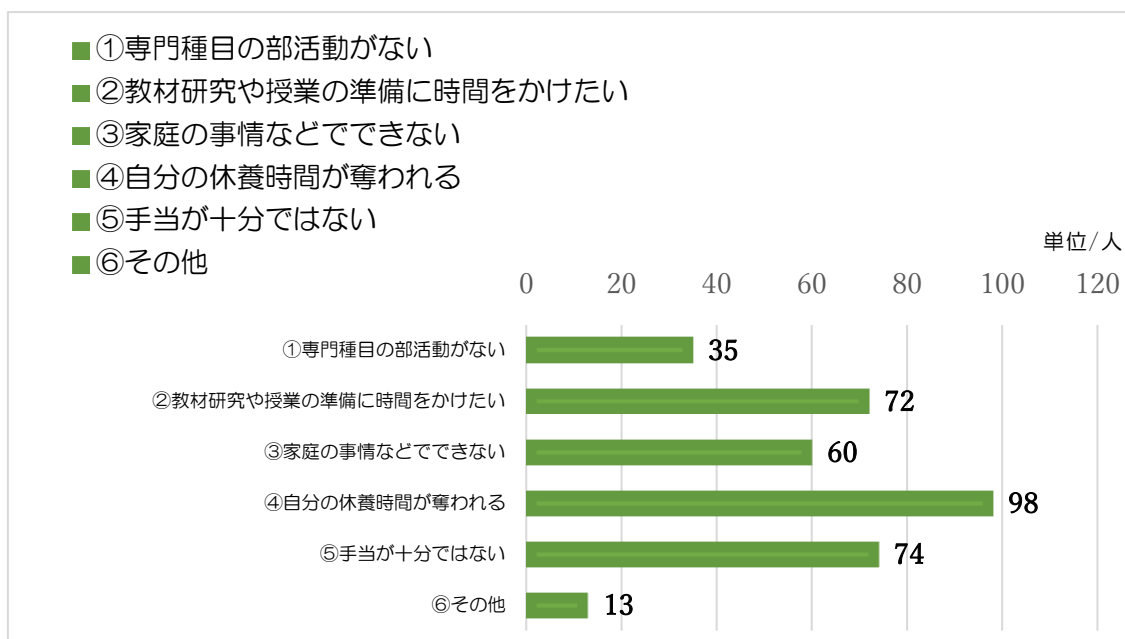
■ 中学校の教員の 36%が顧問を「したい」、「どちらかといえばしたい」。「したくない」、「どちらかといえばしたくない」が 63%。したくないが、したいの 1.75 倍。

Q4 Q3で①か②と答えた人にお聞きします。顧問をしたいという理由を教えてください。  
(複数選択可)



■ 「生徒との触れ合う時間を大切にしたい」が一番多い。

Q5 Q3で③か④と答えた人にお聞きします。したくない理由を教えてください。  
(複数選択可)

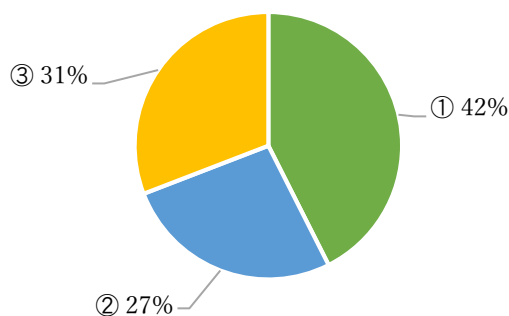


■ 「自分の休養時間が奪われる」が一番多く、「手当が十分でない」と感じている。  
次に「教材研究や授業の準備に時間をかけたい」と続く。



**Q6 現在、顧問をされている担当の部活動についてお聞きします。**

- ①過去に自分が取り組んでいた競技や活動を担当している（自分の専門種目）（80人）
- ②過去に取り組んではいないが、顧問として一定期間担当してきた競技や活動を担当している（専門外の競技や活動を担当）（50人）
- ③過去に関わったことのない競技や活動を担当している。（58人）

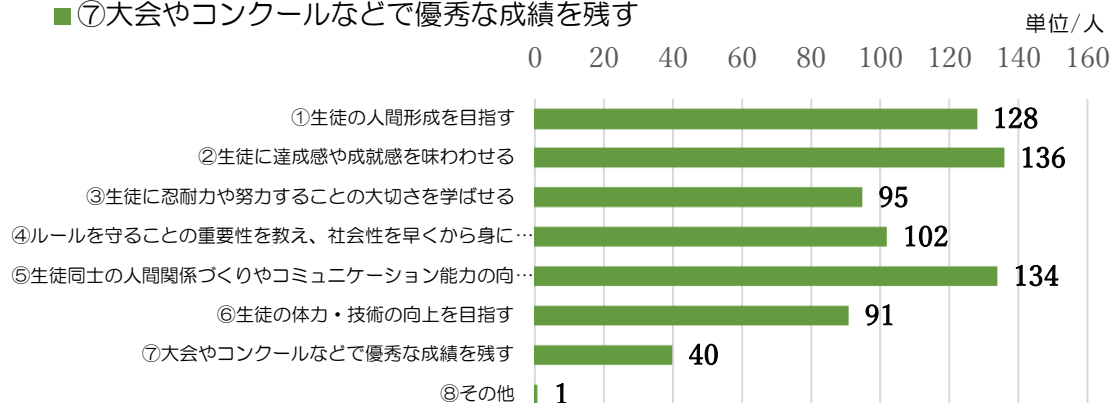


■ 専門種目の担当顧問は42%、58%が専門外を指導している。

**Q7 部活動の顧問として、どのようなことに重点を置いて指導していますか。**

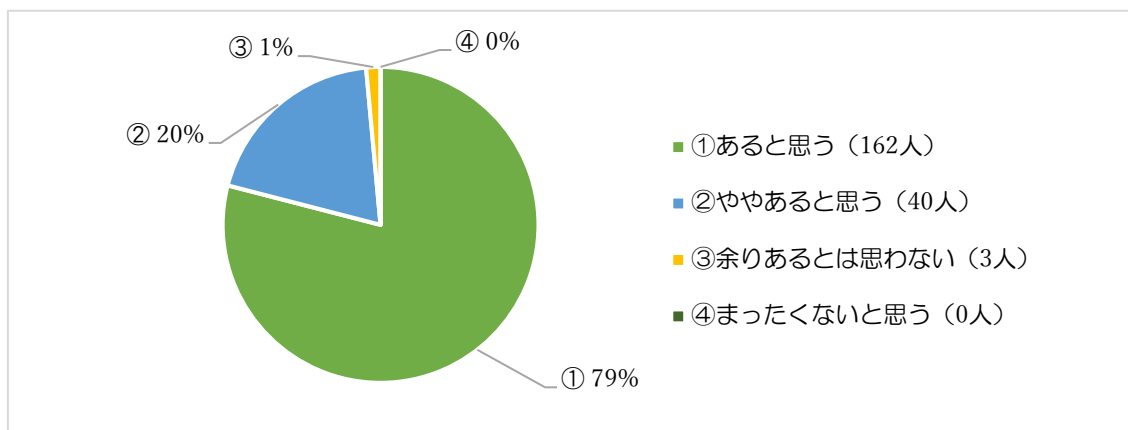
（複数選択可）

- ①生徒の人間形成を目指す
- ②生徒に達成感や成就感を味わわせる
- ③生徒に忍耐力や努力することの大切さを学ばせる
- ④ルールを守ることの重要性を教え、社会性を早くから身につけさせる
- ⑤生徒同士の人間関係づくりやコミュニケーション能力の向上を目指す
- ⑥生徒の体力・技術の向上を目指す
- ⑦大会やコンクールなどで優秀な成績を残す



■ 教育的意義に配慮した取組みへの項目がいずれも多い。

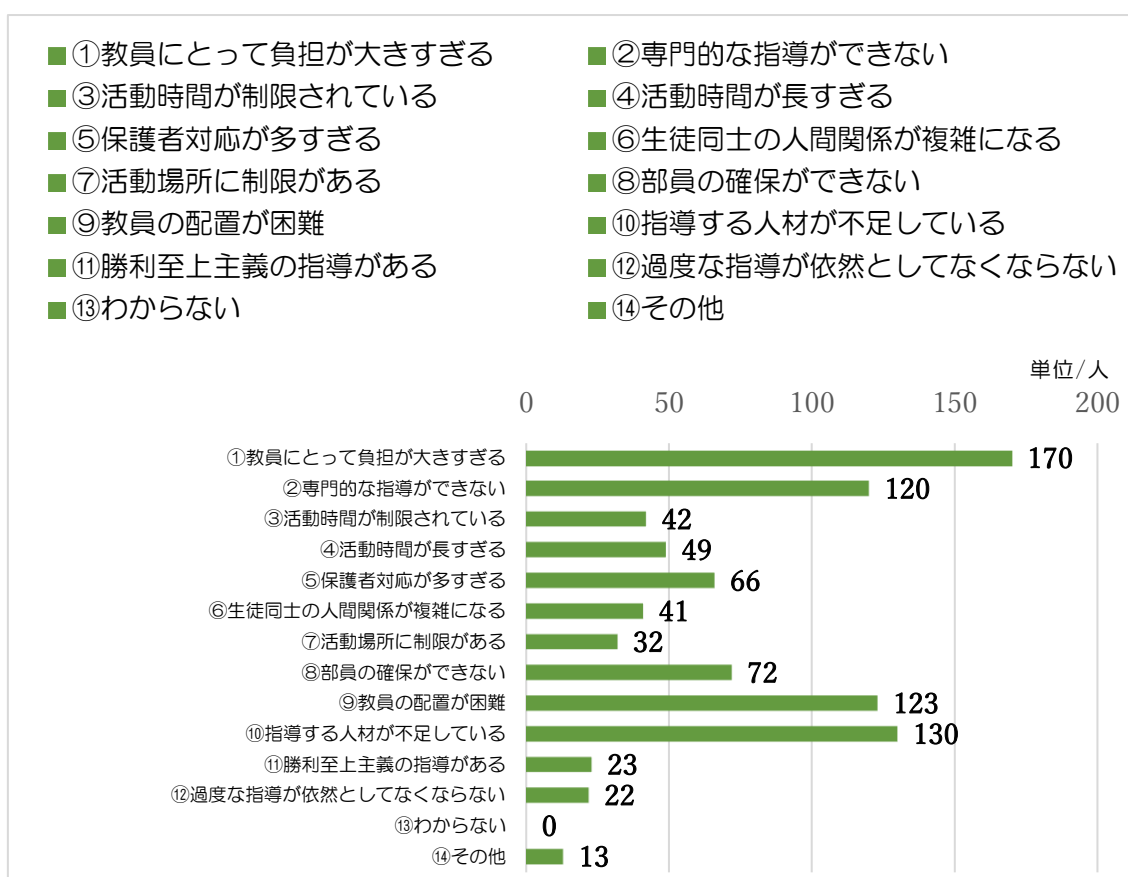
Q8 現在の学校教育における部活動には、課題があると思いますか。



■ 約80%の教員が課題ありと回答。

Q9 Q8で①または②と答えた人にお聞きします。

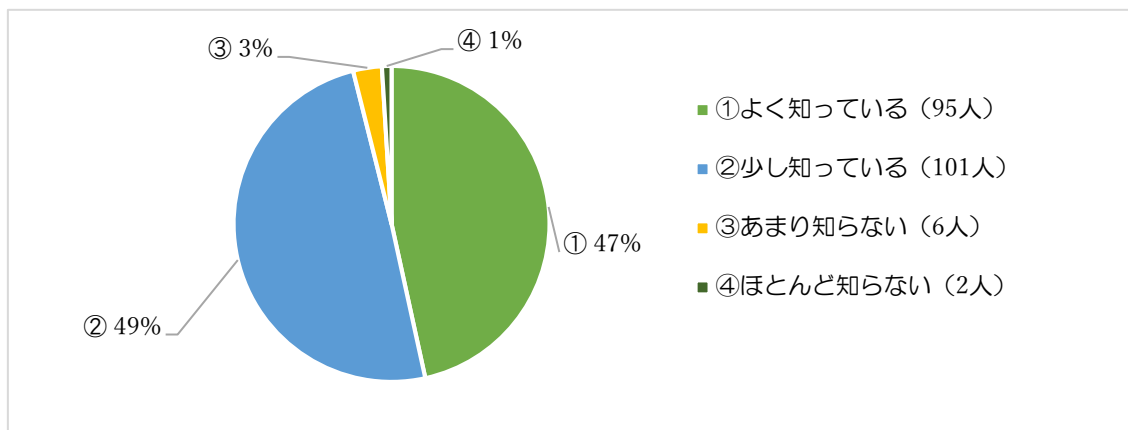
その課題とはどのようなものか教えてください。(複数選択可)



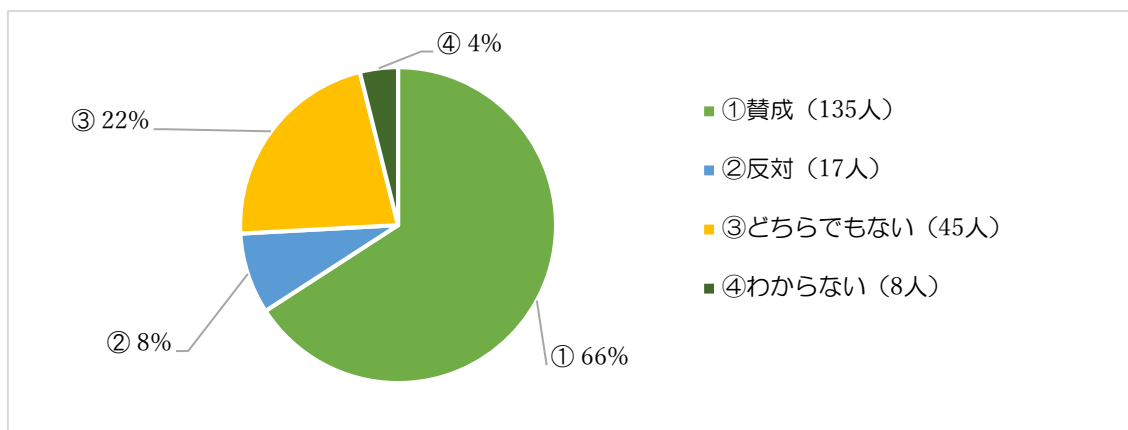
■ 課題は、教員の負担が大きいこと。人材不足、教員の配置が困難と回答。

専門的な指導ができないとの回答が多い。→専門種目の顧問は20% (Q6)

Q10 国においては、令和7年度末までに休日のすべての部活動を（また、状況を見つつ準じ平日の部活動も）地域へ移行することを可能な限り推進するとしています。このことをあなたは知っていますか。

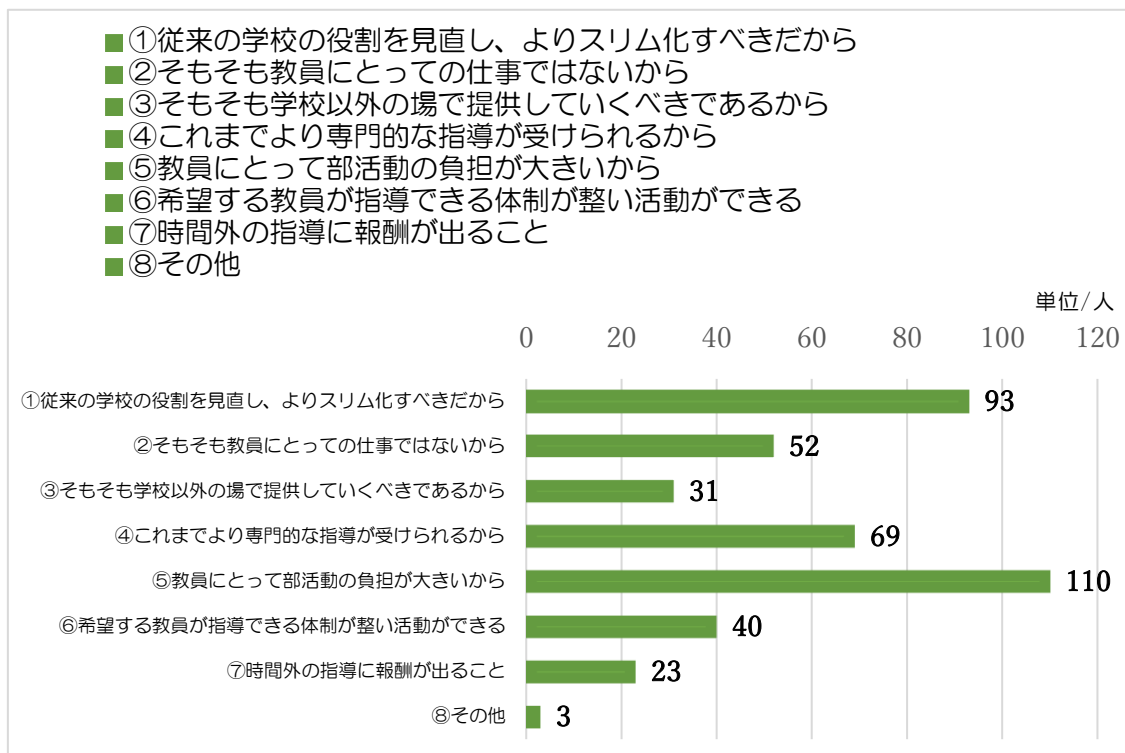


Q11 部活動が学校（学校単位）から地域（地域単位）に移行することについてどう思いますか。



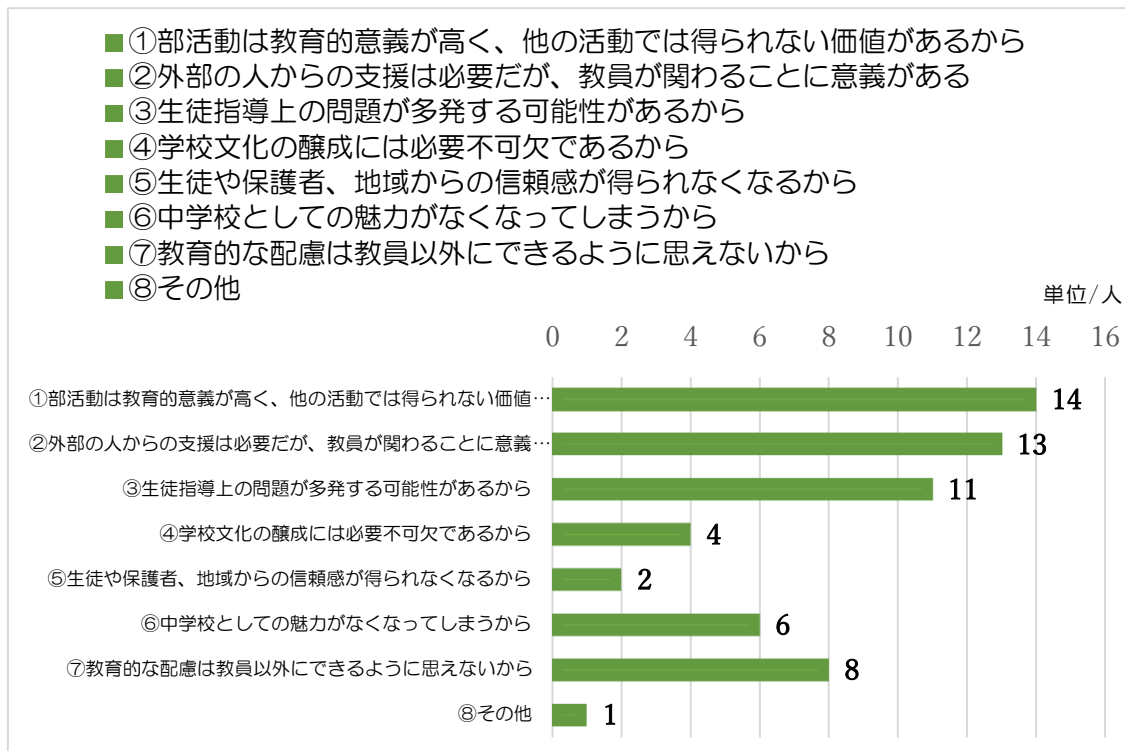
■ 「賛成」が66%。「反対」は8%。「どちらでもない」、「わからない」が26%。

Q12 Q11 で①と答えた人にお聞きします。その理由を教えてください。（複数選択可）

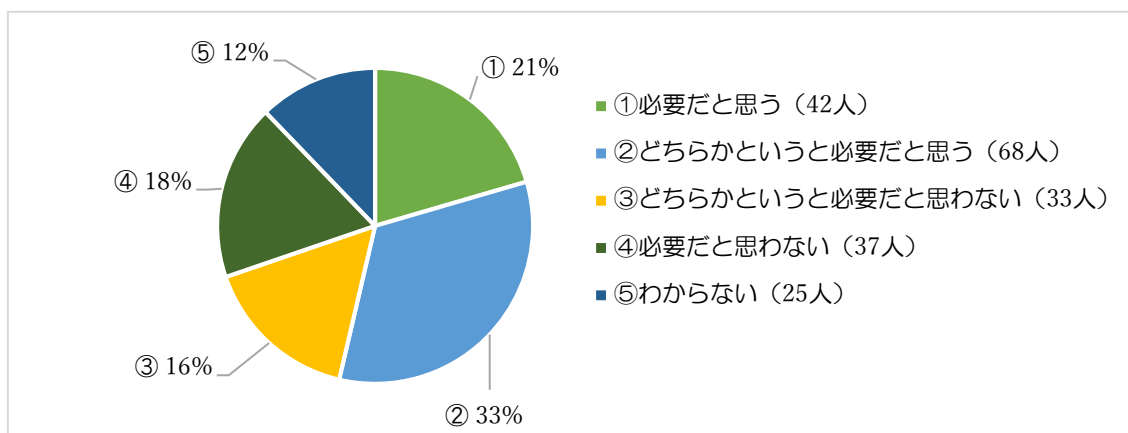


■ 地域移行への賛成の理由として、「負担が大きいこと」との回答が一番。

Q13 Q11 で②と答えた人にお聞きします。その理由を教えてください。（複数選択可）

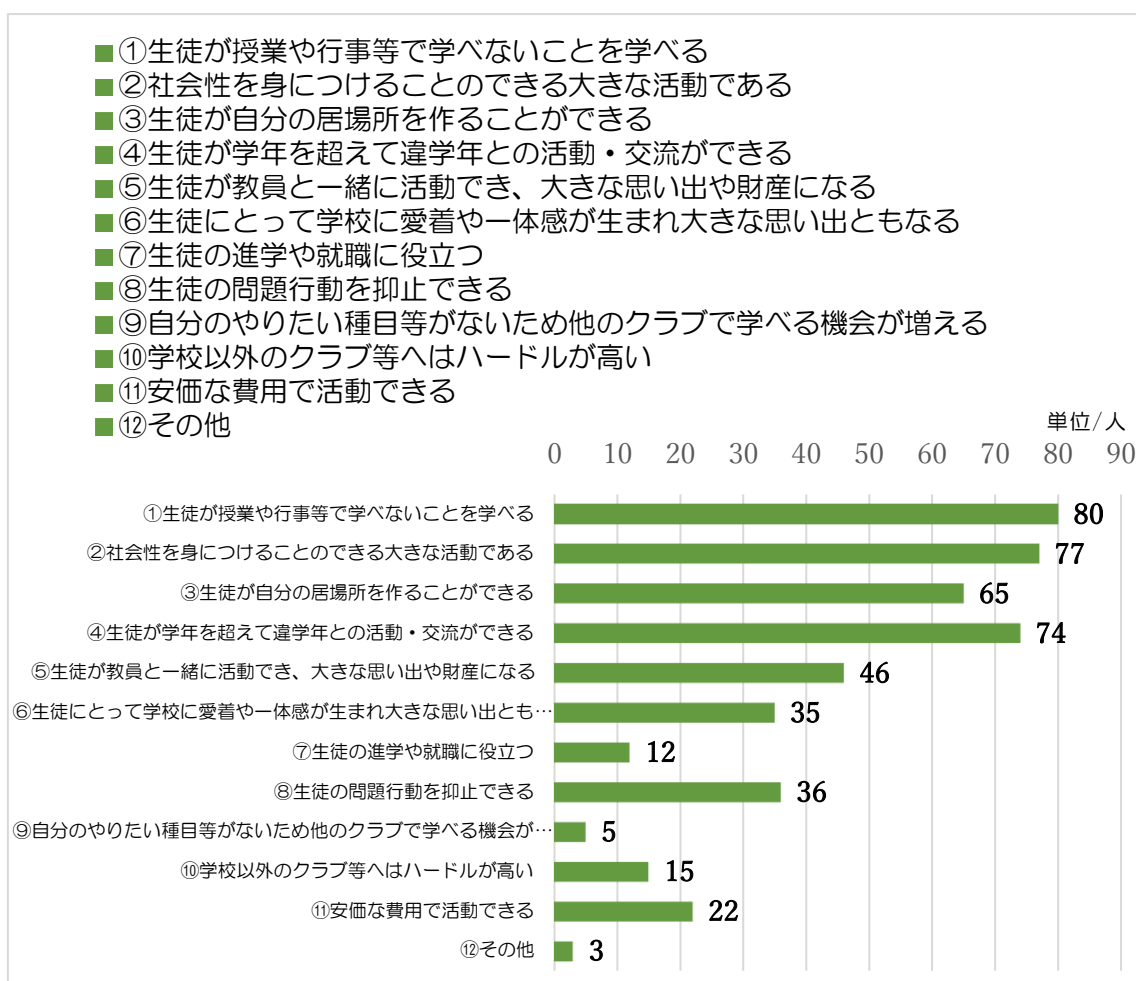


Q14 部活動については、国のガイドラインに沿って地域移行へと検討されていますが、これからも部活動は学校教育に必要だと思いますか。



■ 必要と考えているが54%、必要と考えていないが34%。

Q15 Q14で①または②と答えた人にお聞きします。その理由を教えてください。  
(複数選択可)

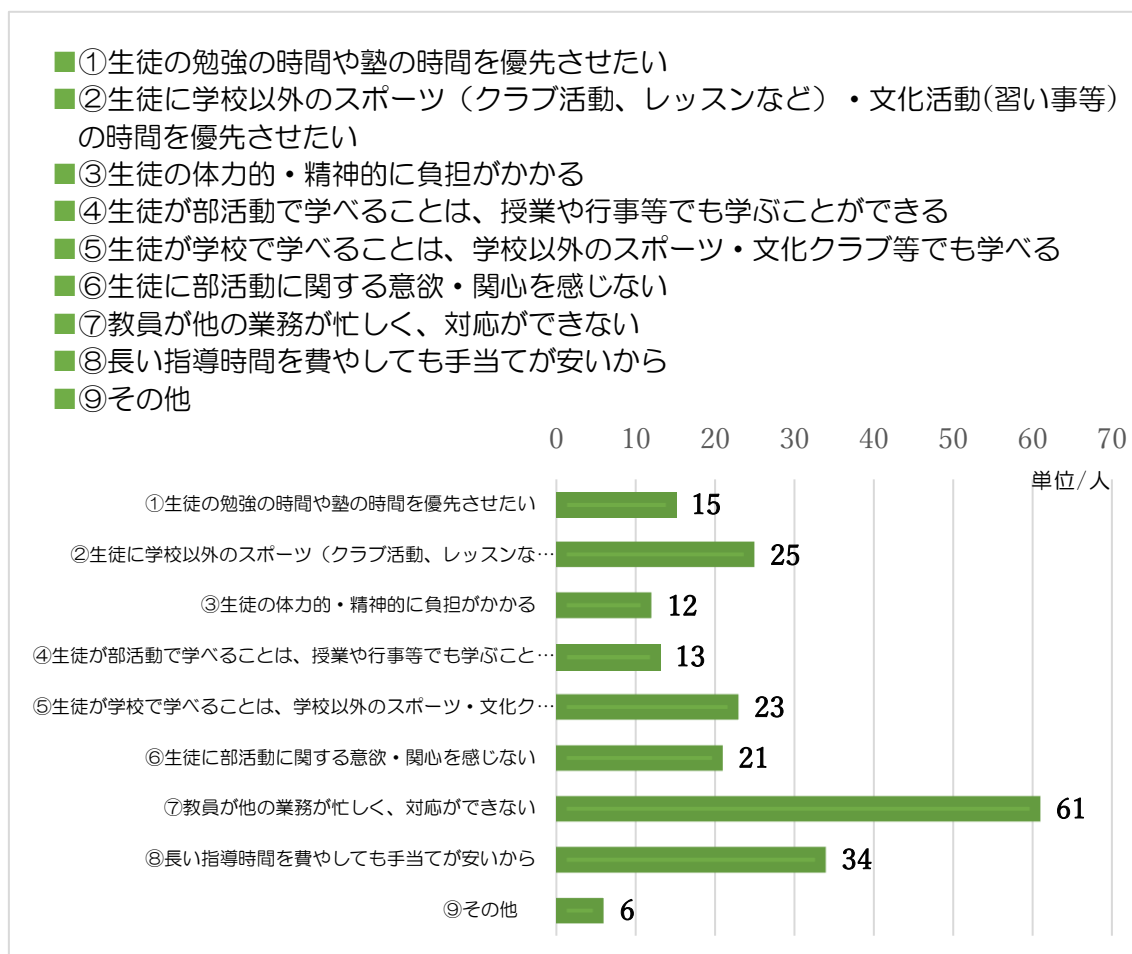


■ 部活動を通して、生き抜くための非認知能力が身に付くという項目が高い。

※非認知能力…物事に対する姿勢や取り組み方、他者との関係の構築など、日常生活や社会活動において重視される能力。

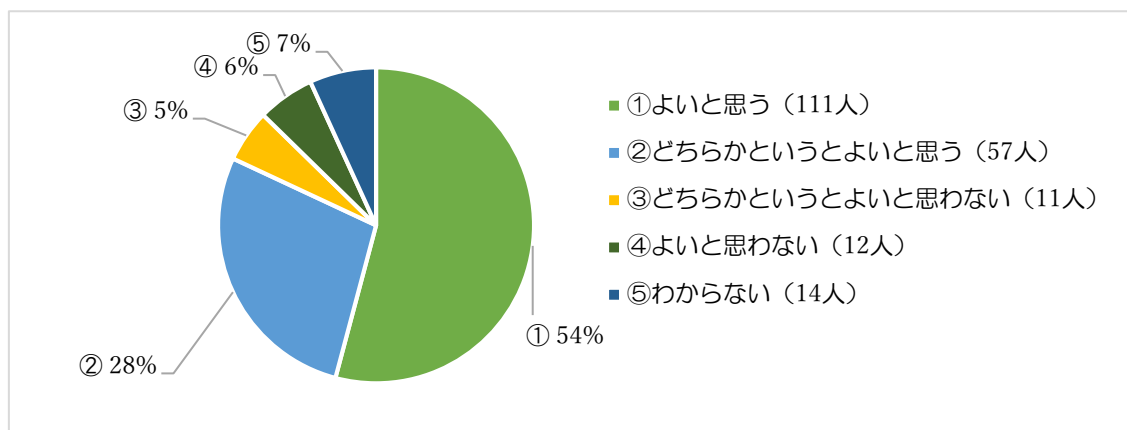
Q16 Q14で③または④と答えた人にお聞きします。その理由を教えてください。

(複数選択可)



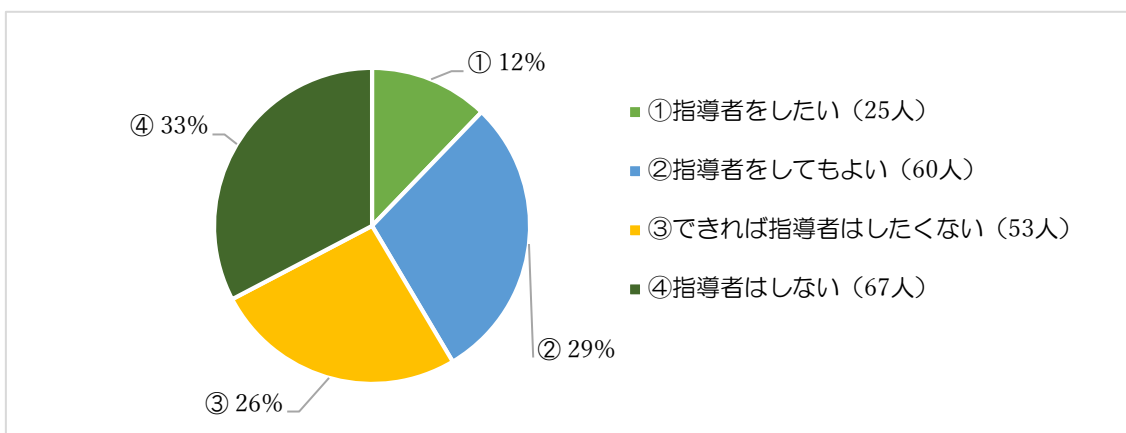
■ 業務が忙しく対応できないが最も多い。

Q17 学校の教員の基本的業務から部活動の指導を無くし、勤務時間外に希望する教員が、指導員として兼職・兼業（報酬発生）し指導することについて、どのように思いますか。



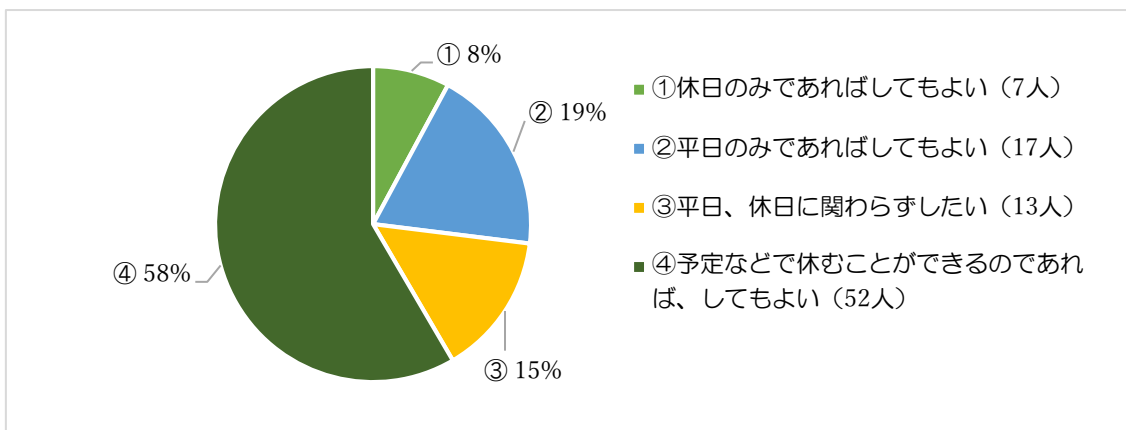
■ 82%の教員が兼職・兼業に賛成に賛成と回答。

Q18 学校部活動が地域のクラブに移行した場合、指導者として関わりたいと思いますか。  
 ※指導者には報酬を支払われる予定です。(兼職・兼業)



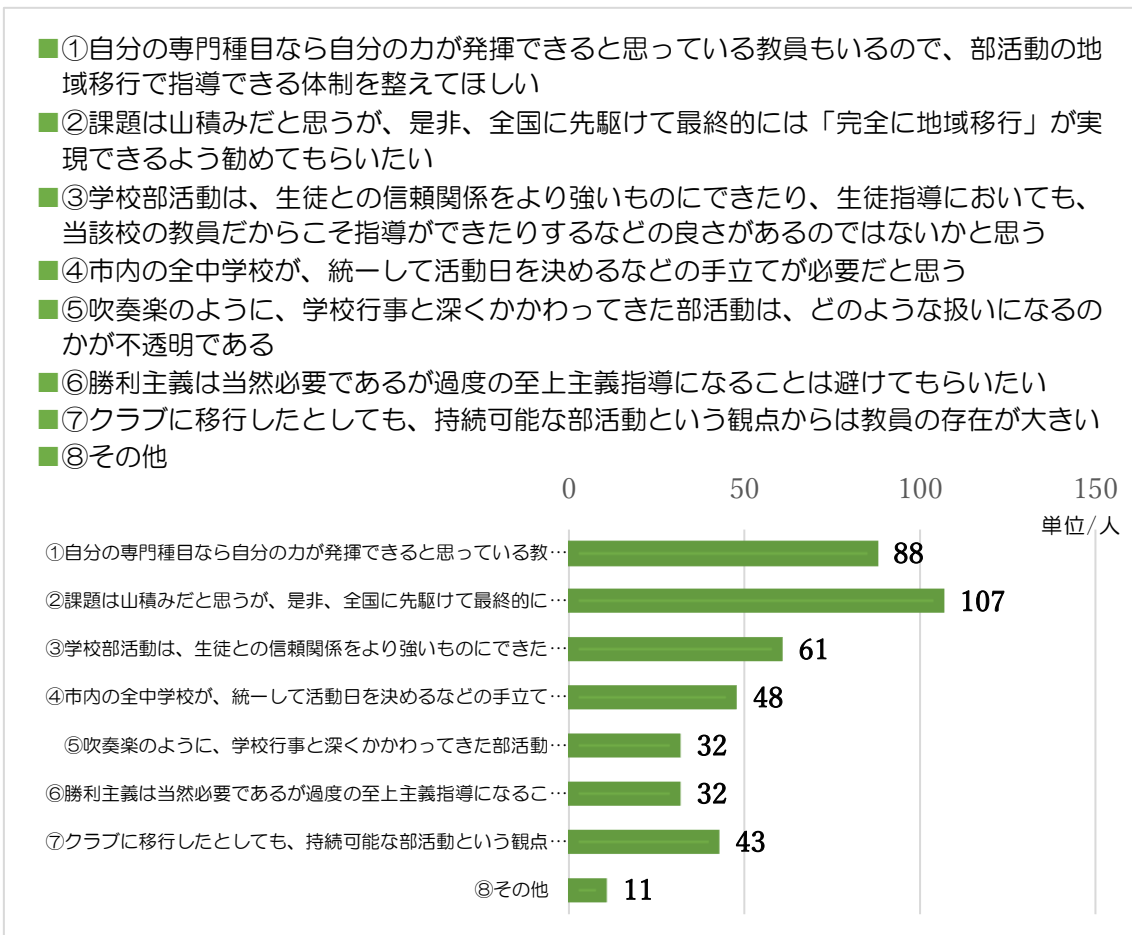
■ 地域移行後、中学校教員の関りとして、41%が「関わりたい」、59%が「関わりたいくない」と回答。

Q19 Q18で①か②と回答した方に伺います。部活動の指導について教えてください。



■ 関わってもよいが、58%の教員は、予定などで休むことができることが前提と回答。

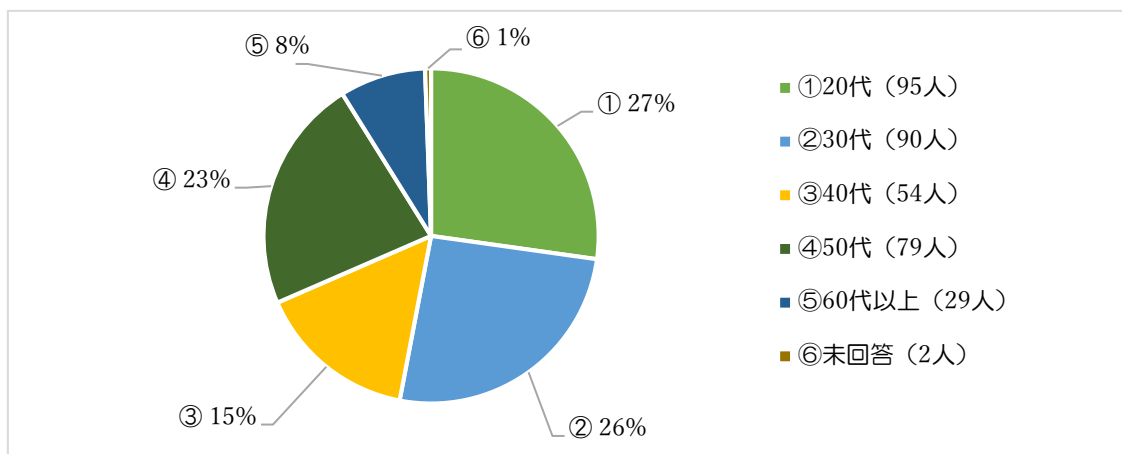
Q20 学校部活動の地域移行については、本市においても中学校の部活動を徐々に移行することとなりますが、このことについて意見や疑問、不安等がありますか、教えてください。



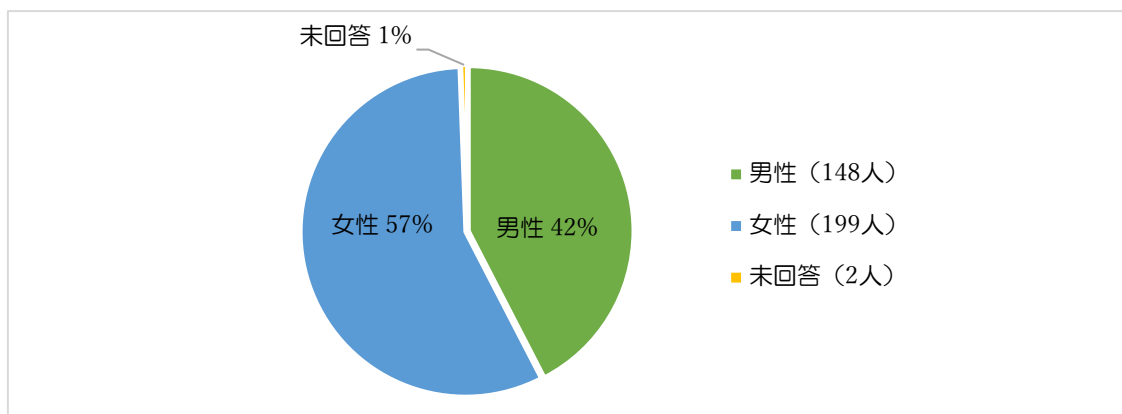


回答数 349 人/460 人 (回答率 : 75.8%)

Q1 年代を教えてください。

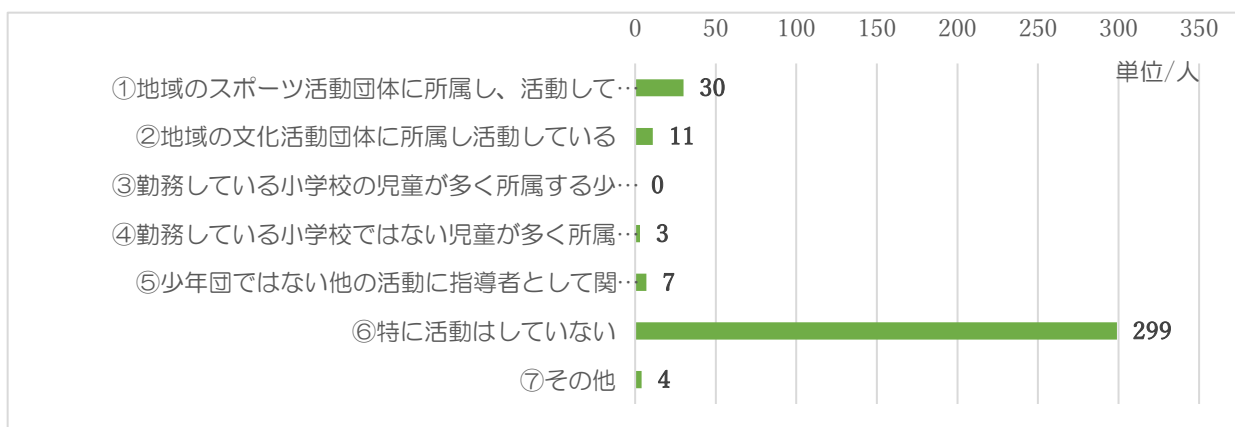


Q2 性別を教えてください。



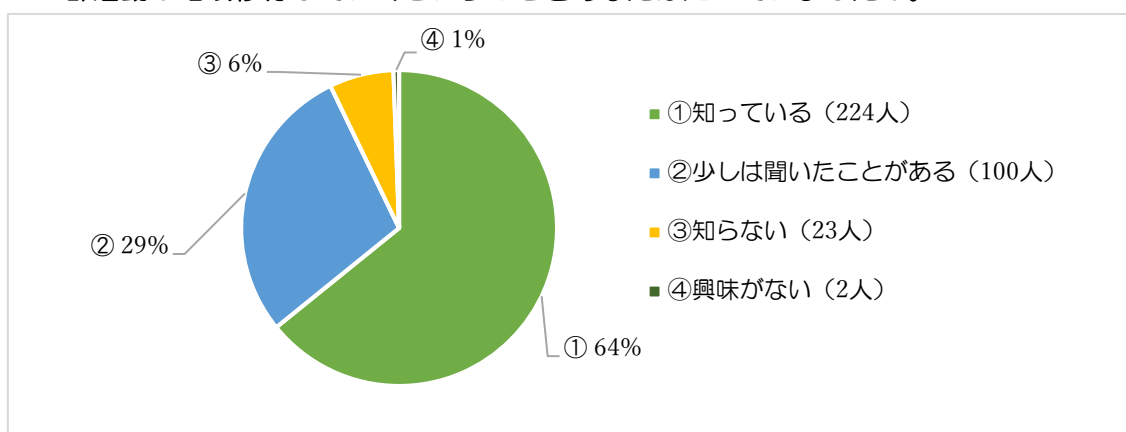
Q3 今現在のご自身の文化・スポーツ活動についてお聞きします。(複数選択可)

- ①地域のスポーツ活動団体に所属し、活動している (30人)
- ②地域の文化活動団体に所属し活動している (11人)
- ③勤務している小学校の児童が多く所属する少年団活動に指導者等として関わっている (0人)
- ④勤務している小学校ではない児童が多く所属する少年団活動に指導者等として関わっている (3人)
- ⑤少年団ではない他の活動に指導者として関わっている (7人)
- ⑥特に活動はしていない (299人)
- ⑦その他 (4人)



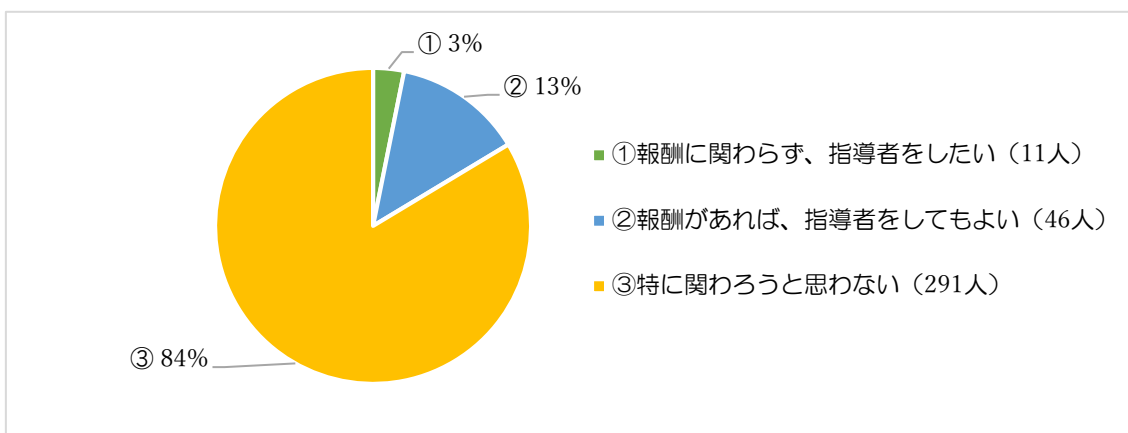
■ 約9割の先生方が、文化・スポーツ活動には関わっていないことがわかる。

Q4 国においては、令和7年度末までに休日のすべての部活動を(また、状況を見つつ平日の部活動も)地域へ移行することを可能な限り推進するとしています。中学校の部活動が地域移行していくということをあなたは知っていましたか。



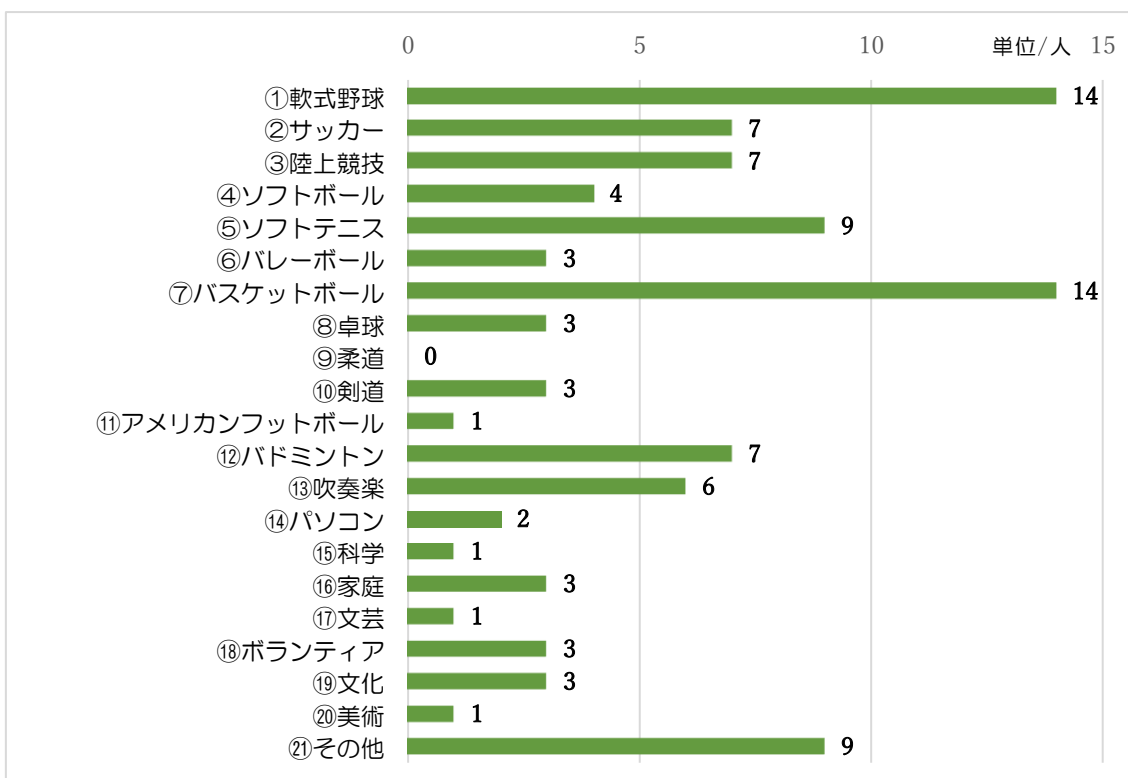
■ 93%の小学校の教員も認知している。

Q5 今後、中学校における部活動が、地域のクラブに移行した場合、指導者として関わりたいと思いますか。※指導者には、報酬が検討されています（兼職・兼業）



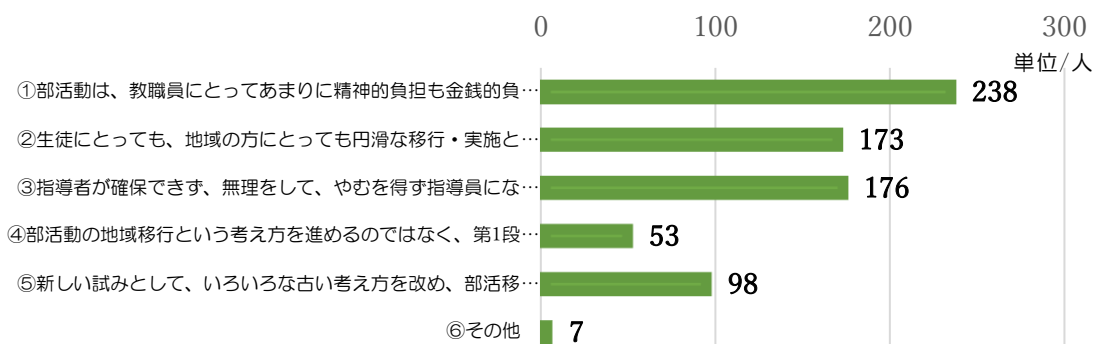
■ 84%の小学校の教員が関わろうと思わない一方、16%（57人）の教員が、「指導したい」、「指導をしてほしい」と回答。

Q6 Q5で①か②と回答した人にお伺いします。指導可能な競技（活動）を教えてください。（複数選択可）



Q7 本市の部活動も今後、国のガイドラインに沿って地域への移行が検討されていきますが、意見や疑問、不安に感じることなどがありますか。（複数選択可）

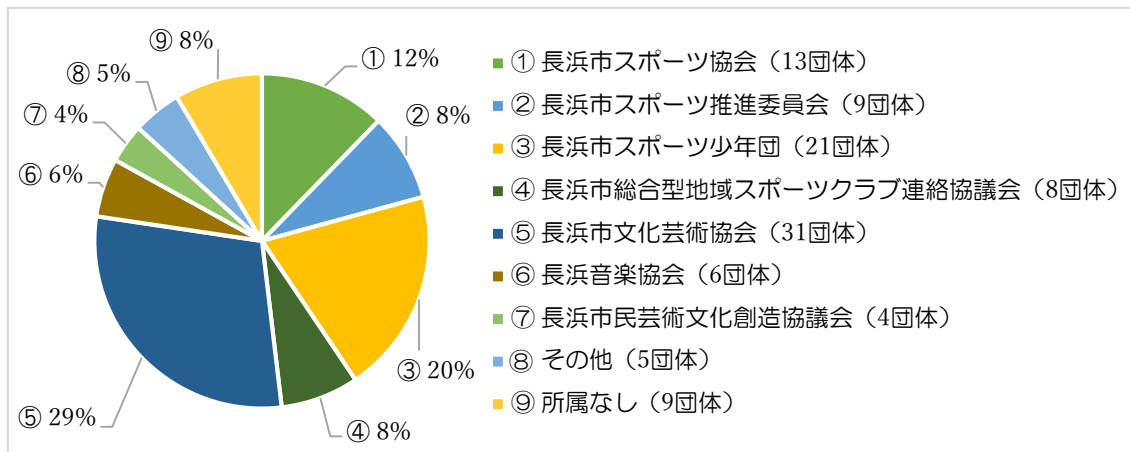
- ①部活動は、教職員にとってあまりに精神的負担も金銭的負担も多いと聞いているので、良い取り組みだと思う
- ②生徒にとっても、地域の方にとっても円滑な移行・実施となることを期待する
- ③指導者が確保できず、無理をして、やむを得ず指導員になる教員がいると、ますます一部の教員に負担がかかるのではないかと思う
- ④部活動の地域移行という考え方を進めるのではなく、第1段階として学校教育から部活動を廃止し、第2段階として社会教育としての地域スポーツ・地域文化活動の新規構築をするという考え方ですすめるべきではないか
- ⑤新しい試みとして、いろいろな古い考え方を改め、部活移行を進めていかなければならないが、よりよい形になるよう模索するのに協力していきたい
- ⑥その他



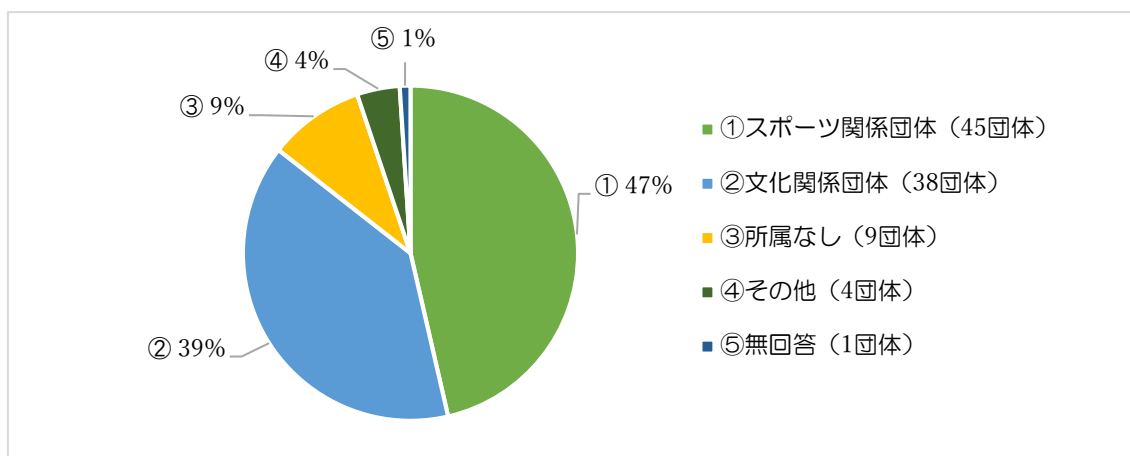
回答数 97 団体（グループ）

### <団体について>

Q1 貴グループの所属団体を教えてください。（延べグループ数）



Q1-1 カテゴリー別の実グループ数

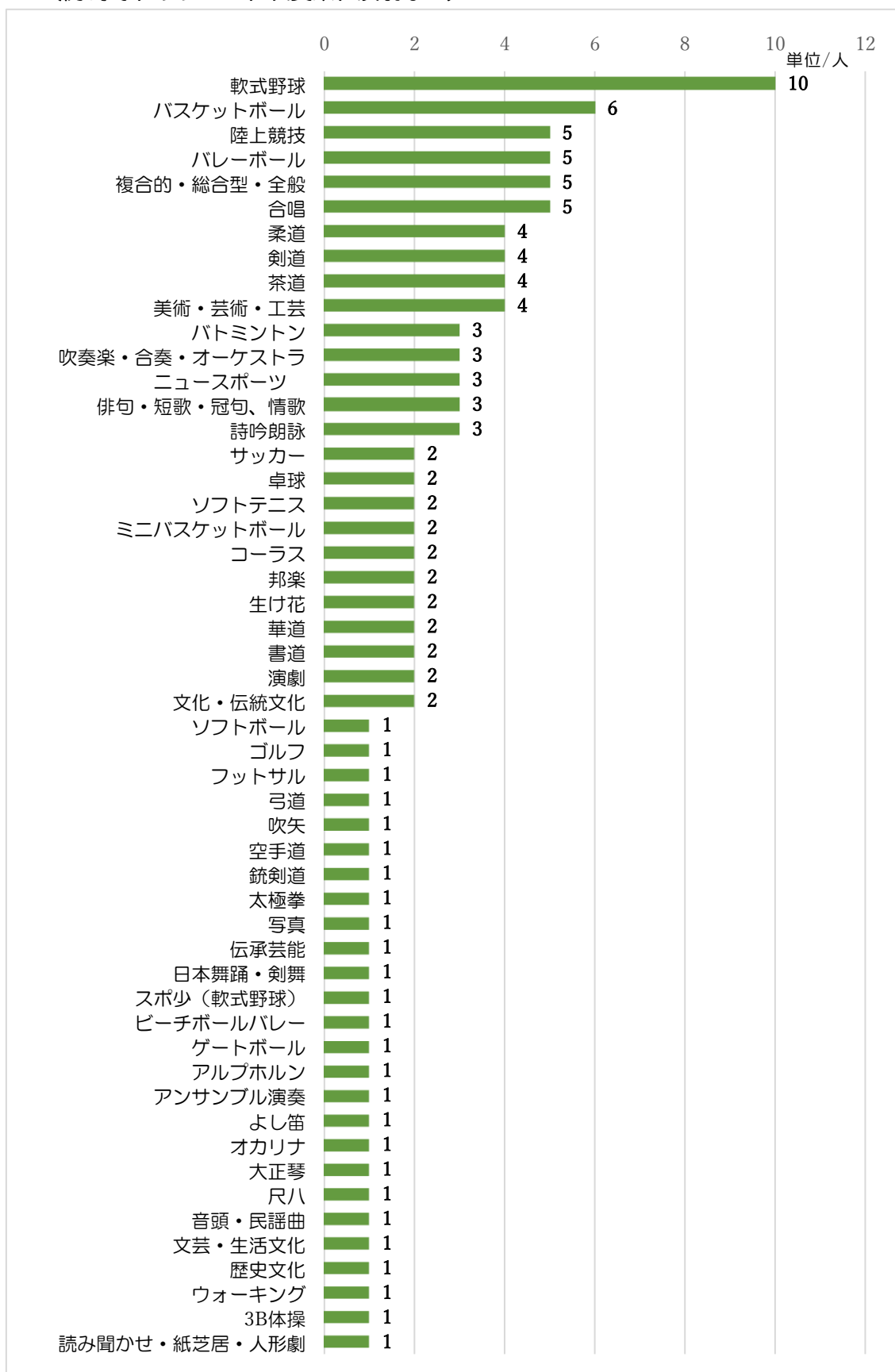


Q2 貴グループの団体名を教えてください。

記載省略

Q3 貴グループが専門とされるスポーツ競技もしくは文化種目は何ですか。

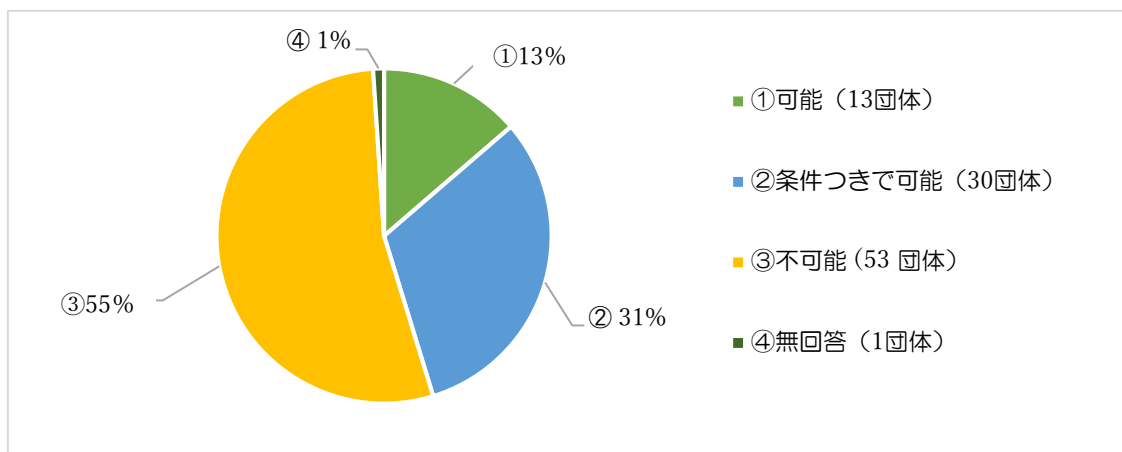
(例:野球、サッカー、吹奏楽、演劇など)



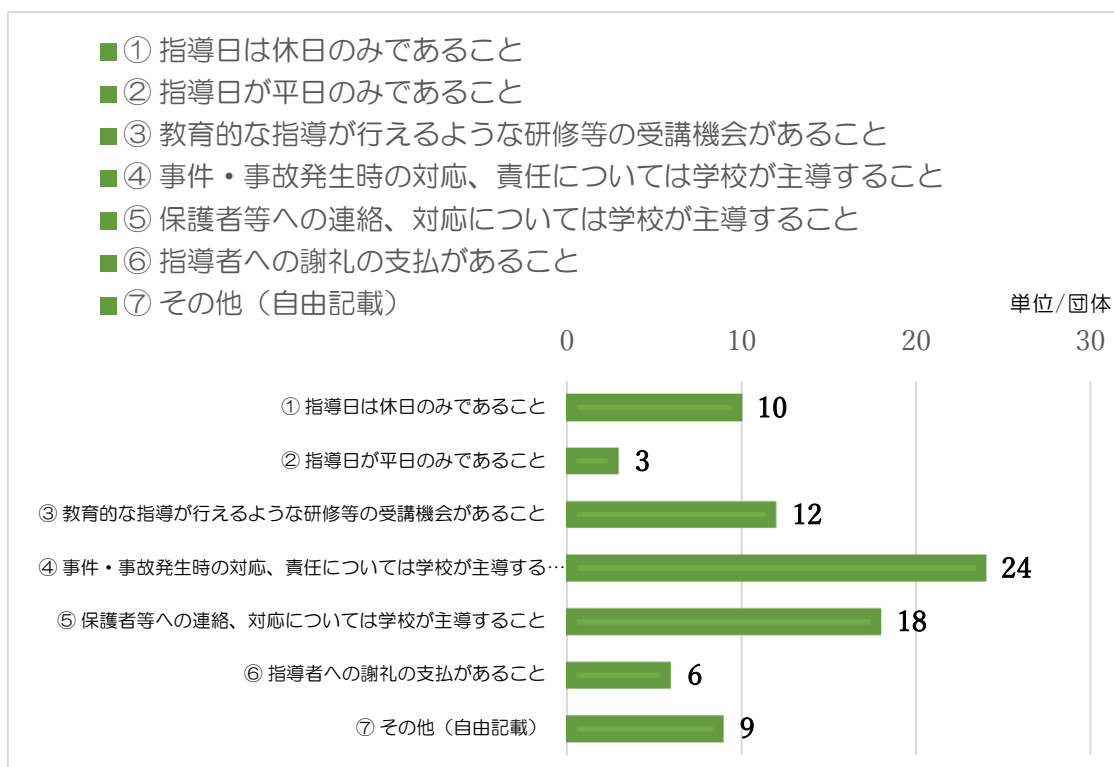
<指導者について>

部活動の地域移行の実施には、学校(学校教職員)以外のスポーツ競技もしくは文化種目の専門的知識を持つ外部指導者の確保が必要となります。

Q4 貴グループのメンバーから、中学校部活動に外部指導者として人員を派遣いただくことは可能ですか。

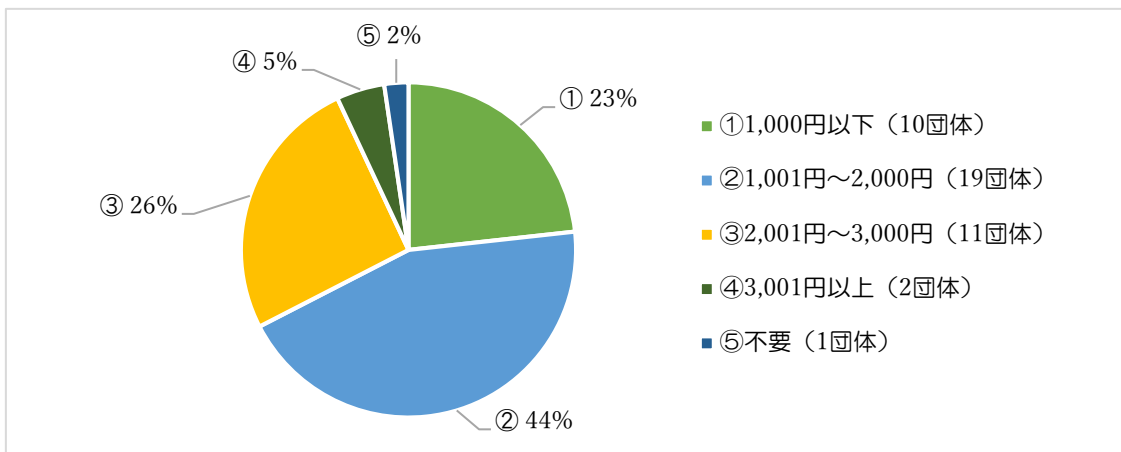


Q5 Q4で「②条件つきで可能」と回答されたグループのみお答えください。派遣を「可能」とする条件は何ですか。（複数回答可）



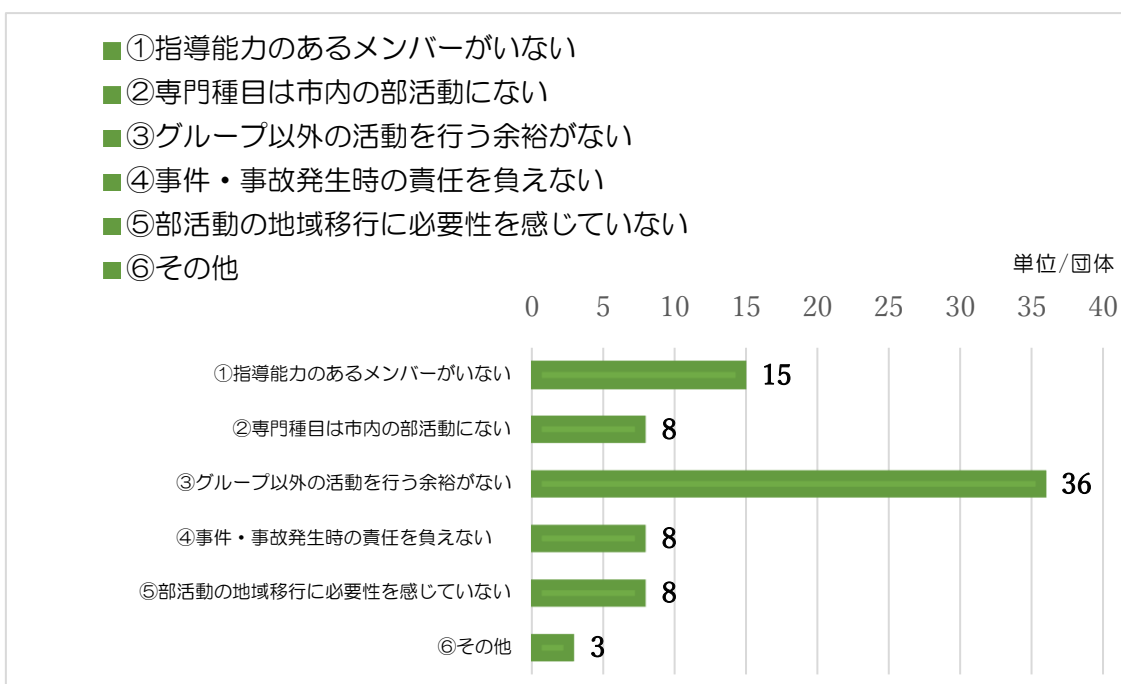
Q6 Q4で「①可能」もしくは「②条件つきで可能」と回答されたグループのみお答えください。

グループから派遣いただく外部指導者1人の1時間当たりの謝礼金額について、適切と思われる金額はいくらですか。



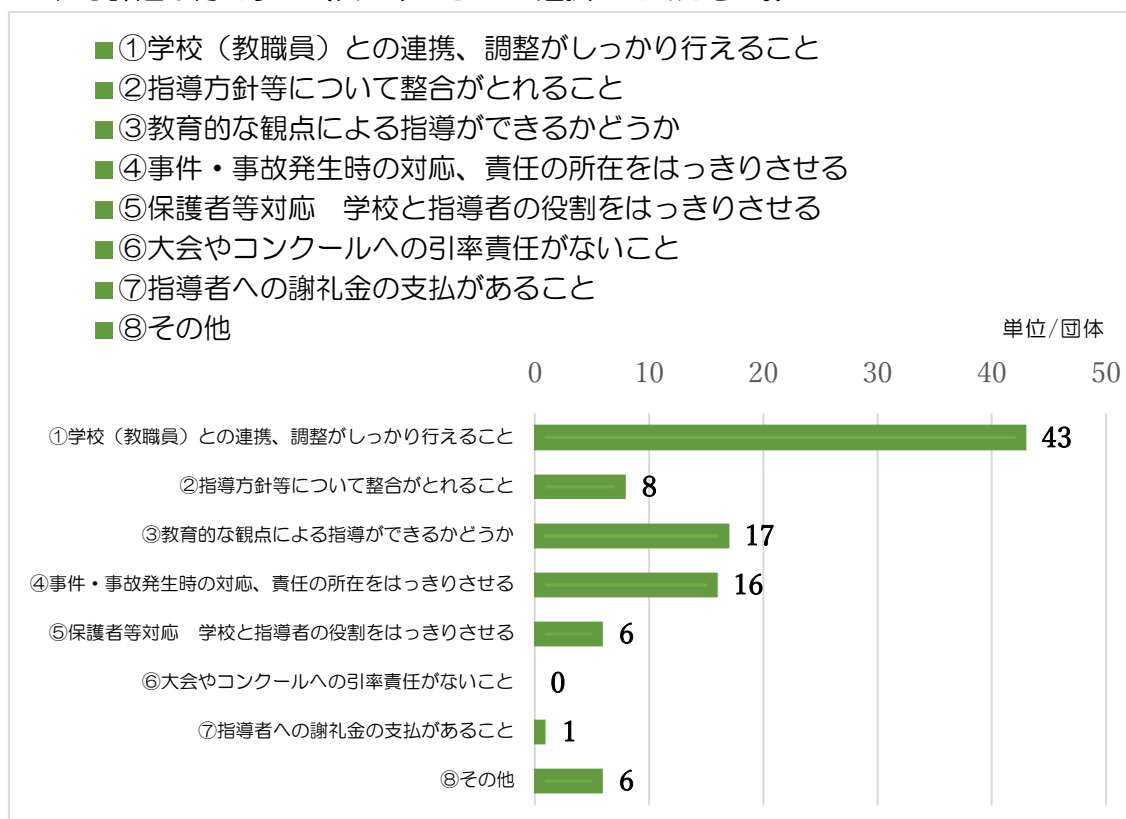
Q7 Q4で「③不可能」と回答されたグループのみお答えください。

「不可能」とされた理由は何ですか。(複数回答可)





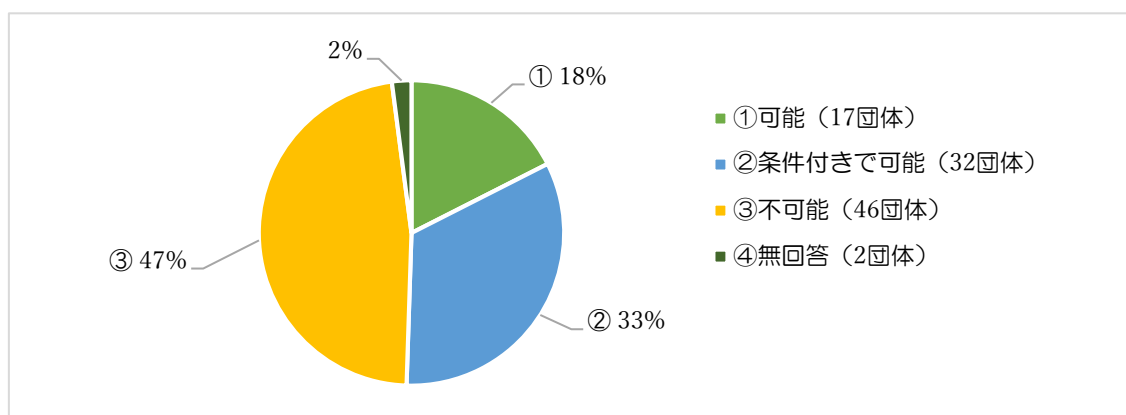
Q8 学校教職員以外の外部の指導者が部活動の指導に関わるとなれば、最も重要と思われる課題は何ですか（次の中から1つ選択してください。）



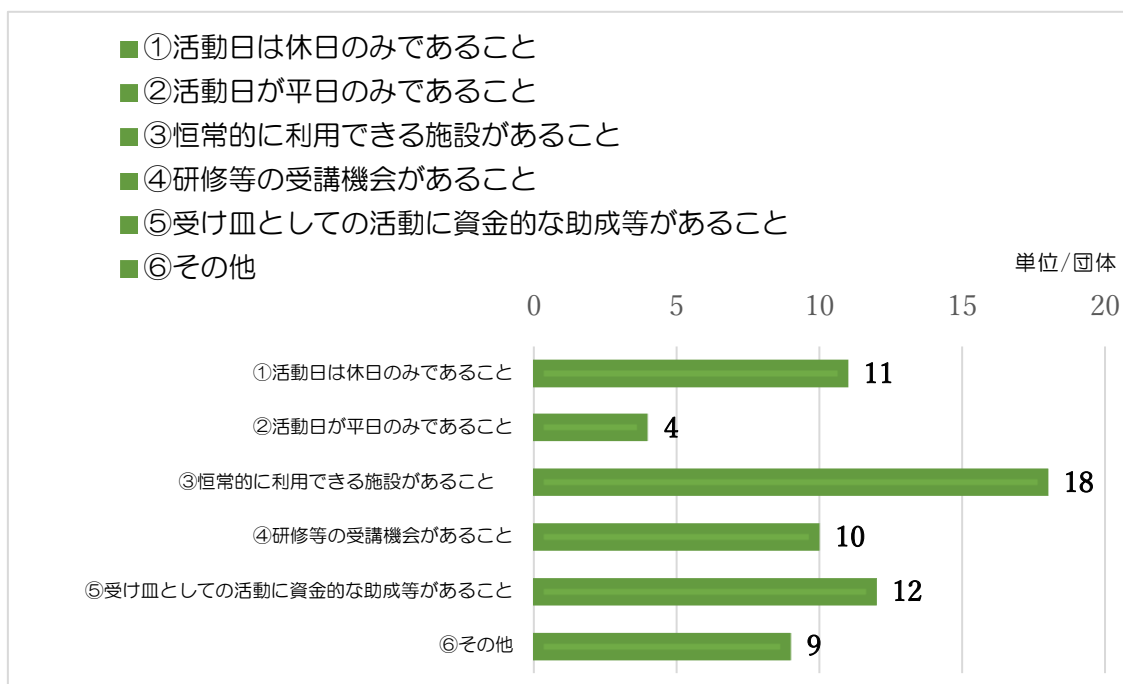
〈地域移行の受け皿となる文化スポーツ団体について〉

これまで中学校で行ってきた部活動を、地域の文化スポーツ団体等が受け皿となり、子どもたちが地域で行われている団体の活動に参加することで、地域の方との交流が生まれ、中学校卒業後も将来に渡り、地域で文化スポーツ活動を継続できる体制を構築していきたいと考えます。加えて、地域の団体が受け皿となることで、現在部活動にある競技種目や文化演目以外の多様な活動が実施可能になります。

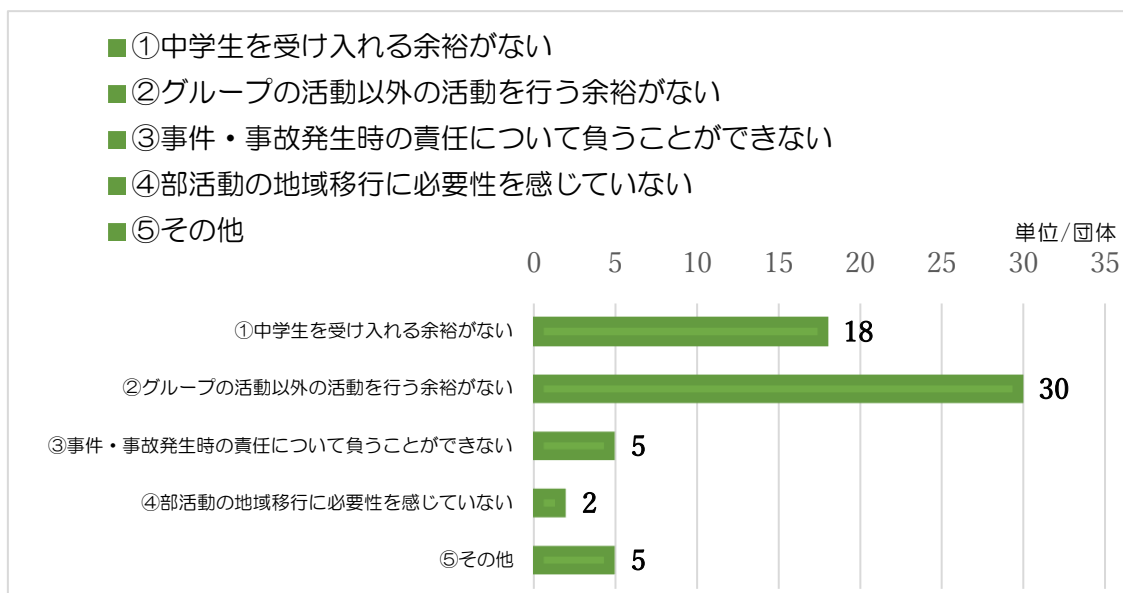
Q9 貴グループは、今後部活動の「受け皿」となって子どもたちを受け入れることは可能ですか



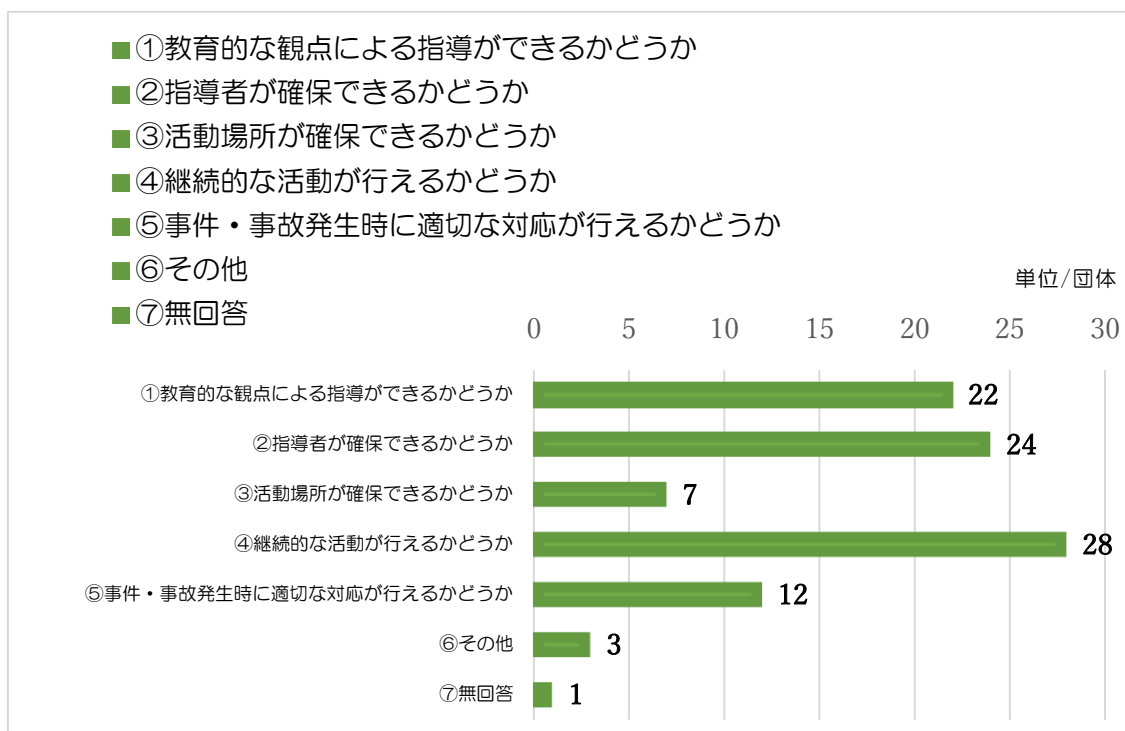
Q10 Q9で「②条件つきで可能」と回答されたグループのみお答えください。  
受入れを可能とする条件は何ですか。(複数回答可)



Q11 問9で「③不可能」とされたグループのみお答えください。  
「不可能」とされた理由は何ですか。(複数回答可)



Q12 地域の文化スポーツ団体が「受け皿」となることで、最も重要と思われる課題は何ですか。(次の中から1つ選択してください)



## 長浜市における部活動地域移行アンケートの結果について

### はじめに

長浜市における部活動の地域移行を進める背景には、人口の減少、少子化による生徒数の減少や教員の働き方改革がある。子どもたちを犠牲にしない、誰一人取り残さない持続可能な部活動を展開するためには、学校、地域および行政や民間団体などが連携・協働し、部活動地域移行の具体的な実現方策を見出さなければならない。そのため、長浜市の部活動地域移行推進計画策定の一環として、令和5年度から3つのパターンで実証事業を展開するとともに今回、学校部活動の現状や課題等を把握することを目的にアンケートを実施した。アンケートは、7つのカテゴリで実施し、6つの学校関係のカテゴリにおいては、12,091人に延べ67項目のアンケートを行い、7,394人（回答率61.2%）から回答を得た。また、市内で活動する文化・スポーツ活動団体にもアンケートを実施し、97団体から回答を得た。

以下は、地域移行を進める段階で、その周りを取り巻く状況について分析したものである。

### 1 「学校部活動の現状に満足している小・中学生」

市内中学生の学校部活動への加入割合は、全体のほぼ9割（複数回答：89%）であり、そのうち8割以上の（84%）生徒が、活動が楽しい、適切な活動時間であるという理由で学校部活動に満足していると回答している。

また、休日の部活動地域移行後の地域クラブへ参加については、参加したいが31%、したくないが21%とほぼ近い割合となっているが、「わからない」との回答が全体の48%を占めていることから、認知度不足等が考えられ、まだまだ現実性として理解されていないことが伺える。

学校以外の地域クラブへ参加している27%、404人（複数回答）の生徒は、自分の目標に向かって自らの意思で専門的な指導を求め、自己実現に向けて積極的に取り組んでいると考えられる。

小学生においては、「中学校の部活動に参加したくない」が全体の3%、73人いるものの、7割近い（64%）児童が中学校の部活動への加入を希望しており、小・中学生の大半が中学校の部活動に期待を寄せていることが伺える。「学校部活動の現状に大半が満足している」という状況から、地域移行は、生徒数の激減からの必然ではあるが、主体である児童・生徒からはそこまでの危機感は感じられない。しかしながら、児童・生徒のニーズをしっかりと把握し、教育的な意義を踏まえて配慮しながら、児童・生徒が犠牲にならないよう丁寧に進めていかなければならない。

## 2 「保護者の不安は教育的配慮より現実的な日常生活の負担」

小学校の保護者は、部活動の地域移行について 78%が賛成している。教職員以外の外部指導者による指導も 93%が賛成である。専門的な指導が受けられる期待との一方で、指導の過熱化や教育的な配慮が担保されるかを危惧している。全体的に地域移行した場合の指導者の資質を重視していることがアンケートから伺える。

中学生の保護者は、現在の学校部活動に 67%が「満足している」という回答を得たが、満足度の内容は、技術指導や教育的指導というより、友人関係や活動頻度に関心が集まっている。

一方で、現在の部活動で負担に感じることや悩みについては、5割が「特になし」と回答している。そのような中、地域移行した場合の教職員以外の外部指導者による指導については、92%が賛成している。地域移行には 61%が賛成であり、特徴的な結果として、小中両保護者ともに「先生の負担が軽減される」が賛成理由の一番手に上がっている。

中学生の保護者は、6割が地域移行に賛成しているものの、移行に「反対」や「わからない」との回答が 4割を占めている。移行の現実性に猜疑心を抱いている保護者がまだまだいることが伺える。

不安材料としては、現実的に日常生活にかかわる、活動場所までの移動手段（送迎含む）やクラブ会費の負担が上位を占めている。このような現実的な問題が確認できた。

## 3 「部活動に対する教職員の意識の変化」

部活動は、生徒の自主的、自発的な参加により行われるものであり、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養に資するものであって、学校教育の一環として学習指導要領に位置づけられた活動である。部活動はこれまで長きにわたって、休日の活動を含めて、教師の献身的な勤務によって支えられてきたが、長時間勤務の要因であることや、特に指導経験がない教師には多大な負担となっているとの声もある。本アンケートにおいても、129人 63%の教職員が「顧問をしたくない」、「どちらかといえば顧問をしたくない」と回答している。一方で「顧問をしたい」、「どちらかといえばしたい」と 73人 36%が回答している。全体として部活動の顧問をしたくない教職員が6割強を占める結果を得た。顧問をしたくない理由として、休養時間が部活動によって奪われること、十分な手当がもらえないこと、教材研究や授業の準備に時間をかけたいなどの理由が多かった。

地域移行には、66%の教職員が賛成しており、移行後の指導者としては6割近く（59%）が関わりたくないと回答している。

このように、地域移行は賛成だが、地域移行後に指導者としては関わりたくない教職員が多い一方で、地域移行を進めても 54%の教職員が部活動は学校教育に必要だと回答している。反対に、教職員の 34%は学校教育に部活動は必要ないと回答している。

## 4 「新たな外部指導者としての参画を期待」

市内小学校教職員の 299 人 86%（複数回答）が文化・スポーツ活動には関わっていない現状であり、その中でも 291 人 84%が地域移行した後においても指導者として関わろうと思わないと回答している。地域移行の指導者としては、11 人 3%が指導者をしたいと回答し、46 人 13%が報酬をもらえれば、指導者をしたいと回答している。指導者として携われる 57 人の教職員を新たな外部指導者として、活躍してもらえる場所が提供できるようなシステムづくりが急がれる。兼職・兼業をした新たな指導者として期待できる。

## 5 「外部指導者の派遣・受け皿を担う地域団体との連携」

市内で活動する文化・スポーツ団体の中で、43 団体 44%の団体が、条件付きも含めて部活動の「外部指導者の派遣」を可能と回答している。求められる条件として、事件・事故発生時の対応や保護者への連絡については学校が主導すること等が挙げられている。また、外部指導員の派遣に対する最も重要な課題は、学校（教職員）との連携や調整がしっかり行えることと回答する団体が、43 団体 44%と半数近くを占めた。

一方、「部活動の受け皿」としては、条件付きも含め 49 団体 51%の団体が可能と回答している。ただし、恒常的に利用できる施設があることや受け皿としての活動に資金的な助成等があること、活動日は休日のみであること等が条件とされた。併せて、受け皿となることへの最も重要な課題としては、継続的な活動ができるか、指導者が確保できるかどうか、教育的な観点による指導ができるかどうか等の懸案事項が挙げられている。

全体としては、子どもたちの活動を支えていくために、地域の団体が積極的に協力していくことに対し前向きな意見が多くある中で、学校との連携や役割分担、教育的な指導ができるかどうか、継続的な活動ができるかどうか等が重要な課題とされ、地域連携・地域移行に対しては十分な議論・調整が必要とされる。